

# 原子力発電所周辺の環境放射能調査

## 2020年(令和2年)度 第2四半期報告書

自：2020年7月

至：2020年9月

福井県環境放射能測定技術会議

## はじめに

福井県および日本原子力発電株式会社、関西電力株式会社、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構は、福井県環境放射能測定技術会議が定めた「原子力発電所周辺の環境放射能調査報告（計画書）」に基づき、原子力発電所周辺の環境放射線監視を実施しています。

2020年7月から9月までの第2四半期の監視結果を、2020年12月に開催した第259回福井県環境放射能測定技術会議において詳細に検討しました。

本報告書はこれら検討結果をとりまとめたものです。



# 福井県環境放射能測定技術会議

## 構成機関

福井県安全環境部原子力安全対策課

福井県原子力環境監視センター

福井県水産試験場

日本原子力発電株式会社

関西電力株式会社

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構





# 目 次

はじめに .....	1
構成機関 .....	3
目次 .....	5
1 調査結果 .....	7
2 測定結果の概要 .....	8
3 資料	
(1) 調査方法 .....	17
(2) 調査地点 .....	20
図 3-2-1 空間放射線量率および浮遊じん連続測定・積算線量測定地点（全域）	25
図 3-2-2 環境試料採取地点 その1 敦賀発電所および新型転換炉原型炉ふげん周辺	27
"                    その2 高速増殖原型炉もんじゅ周辺 .....	28
"                    その3 美浜発電所周辺 .....	29
"                    その4 大飯発電所周辺 .....	30
"                    その5 高浜発電所周辺 .....	31
"                    その6 広域 .....	32
(3) 測定結果	
表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 .....	33
表 3-3-2 積算線量測定結果 .....	45
表 3-3-3 浮遊じん放射能の連続測定結果 .....	49
表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果 その1 大気中のヨウ素-131 .....	51
"                    その2 浮遊じん .....	52
"                    その3 陸 水 .....	53
"                    その4 陸 土 .....	54
"                    その5 農畜産物（原乳） .....	55
"                    その6 指標植物（ヨモギ） .....	56
"                    その7 指標植物（松葉） .....	57
"                    その8 降下物 .....	58
"                    その9 海 水 .....	59
"                    その10 海底土 .....	60
"                    その11 海産食品（魚類、無脊椎動物、海藻類） .....	61
"                    その12 指標海産生物（ホンダワラ） .....	62

表 3-3-5	トリチウム分析結果	その 1	大気中水分	63
	〃	その 2	陸 水	65
	〃	その 3	雨 水	66
	〃	その 4	海 水	67

#### 参考資料

I	各発電所の運転等の状況	71
II	各発電所の放射性廃棄物放出実績	74

#### 付録

付録 1	大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について	80
付録 2	軽水型原子力発電所に対する線量目標値	81

## 1 調査結果

福井県環境放射能測定技術会議は、第 259 回定例会議において、「2020 年度調査計画書（FERC 第 52 巻 6 号）」に基づき、表 1-1 のとおり 2020 年 7 月～9 月の調査を行い、結果について検討を行った。

表 1-1 今期の調査件数

空間放射線量	線量率（連続）	97 地点
	積算線量	109 地点
放射能	浮遊じん（連続）	11 地点
	環境試料	275 試料

調査結果を要約すれば、以下のとおりである。

### ① 空間放射線量測定結果

- ・空間放射線量率の連続測定および積算線量の測定において、県内原子力発電所に起因する線量上昇は観測されなかった。

(表 3-3-1 (p.33～p.44)、表 3-3-2 (p.45～p.48) 参照)

### ② 放射能測定結果

- ・浮遊じんの放射能の連続測定では、県内原子力発電所に起因する変動は観測されず、いずれも天然放射能のレベルであった。

(表 3-3-3 (p.49～p.50) 参照)

- ・指標植物（ヨモギ）および海産食品の一部試料からセシウム-137が検出されたが、環境安全上問題となるレベルに比べてはるかに低い濃度であった。
- ・陸土、海水、海底土および指標海産生物の一部試料からセシウム-137が検出されたが、これまでの検出実績と比べて特に大きな変動は認められなかった。
- ・検出されたセシウム-137は県内原子力発電所に起因するものではなく、過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられる。

(表 3-3-4 (p.51～p.62) 参照)

- ・大気中水分の一部試料から県内原子力発電所の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、いずれも環境安全上問題となるレベルに比べてはるかに低い濃度であった。
- ・雨水および海水の一部試料から県内原子力発電所の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、これまでの検出実績と比べて特に大きな変動は認められなかった。

(表 3-3-5 (p.63～p.67) 参照)

したがって、今期の調査結果において、県内原子力発電所に起因する環境安全上の問題となる影響は認められなかった。

## 2 測定結果の概要

### (1) 空間放射線量測定結果

#### ①空間放射線量率の連続測定

空間放射線量率連続測定（97地点）において観測された「平均値＋標準偏差（ $\sigma$ ）の3倍（p.18(1)参照）」を超える線量率の上昇は、表2-1に示したように、ほとんどが降雨によるものであった。また、降雨以外では、静穏時における大気中ラドン娘核種濃度の上昇による影響が敦賀地区で12地点、美浜地区で8地点、高浜地区で1地点、広域地区で3地点、計24地点において最大で7時間認められた。その他、これら以外の上昇は無く、県内原子力発電所からの放射性物質の放出に起因する空間放射線量率上昇は観測されなかった。

図2-1に各測定地点の今期の空間放射線量率測定結果を示す。図には、1時間値をもとに算出した3ヶ月間の平均値および最低値～最高値の範囲を示している。

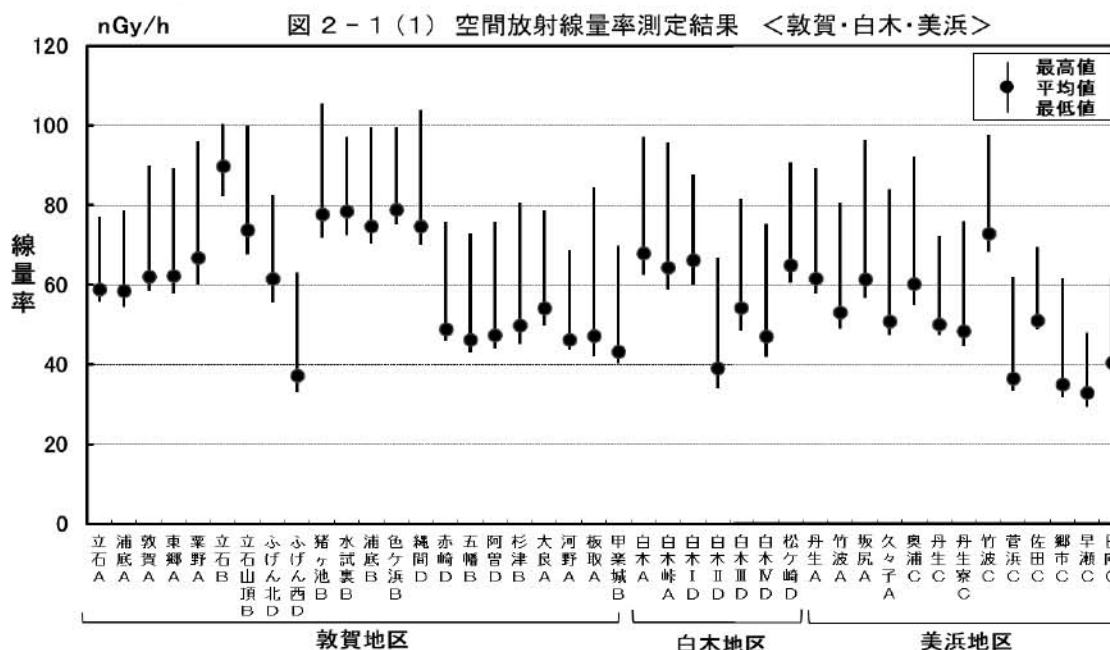
（表3-3-1（p.33～p.44）参照）

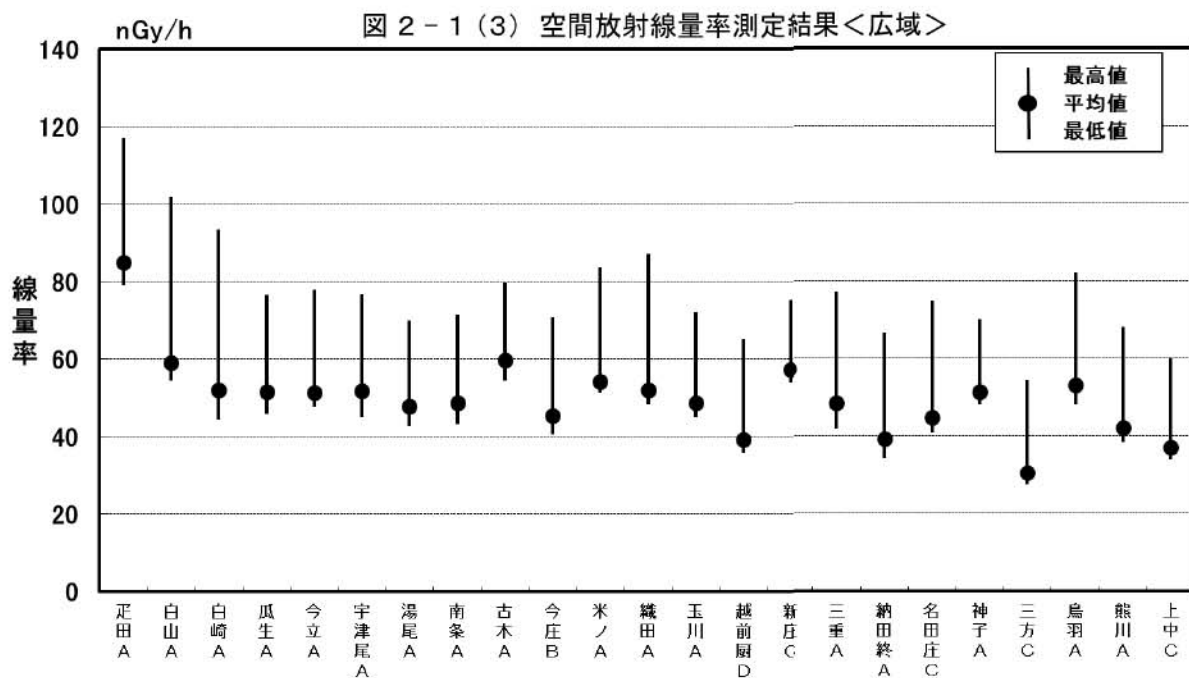
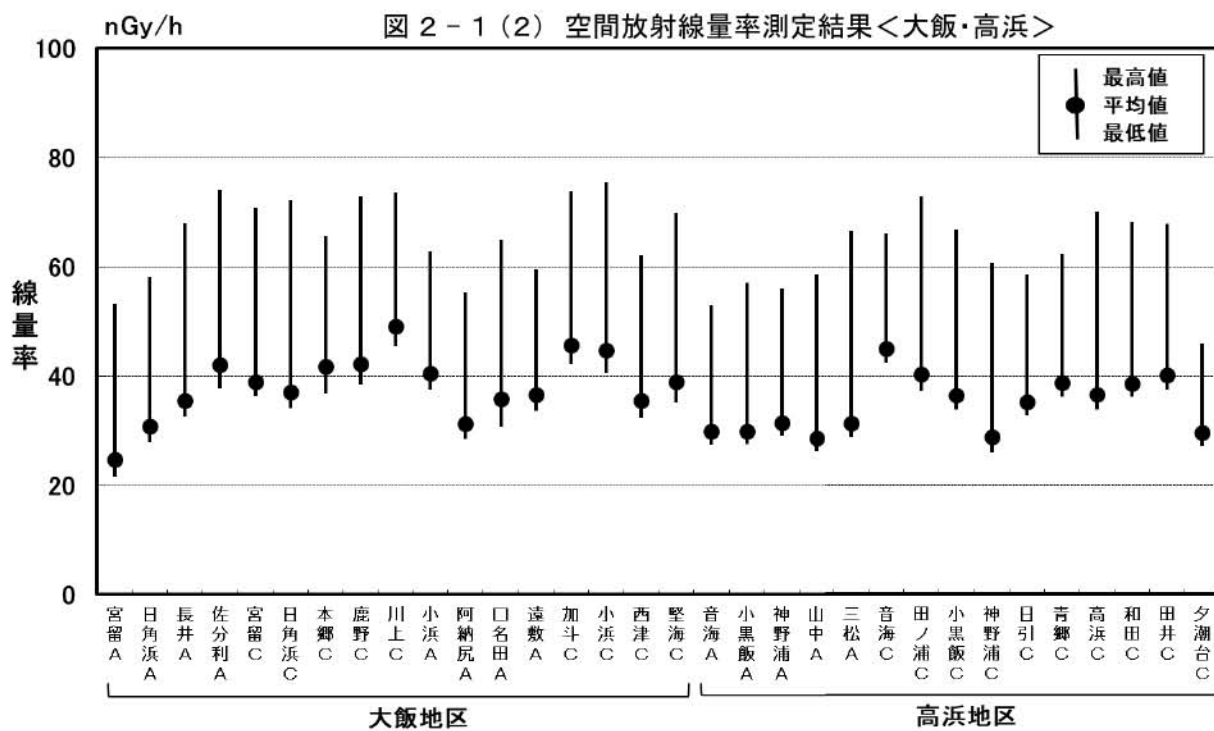
表2-1 「平均値＋3 $\sigma$ 」を超えた原因とその時間数（単位：時間）

地区（地点数）	原因		
	降雨	降雨以外	発電所
敦賀（22）	0～25	0～7	0
白木（7）	2～22	0	0
美浜（13）	1～25	0～3	0
大飯（17）	5～26	0	0
高浜（15）	2～24	0～2	0
広域（23）	0～24	0～3	0

（注1）上記の評価は1時間値をもとに行った。

（注2）表中の時間数は、各地点で月ごとに集計し「平均値＋3 $\sigma$ 」を超えた時間数の最低～最高を示す。

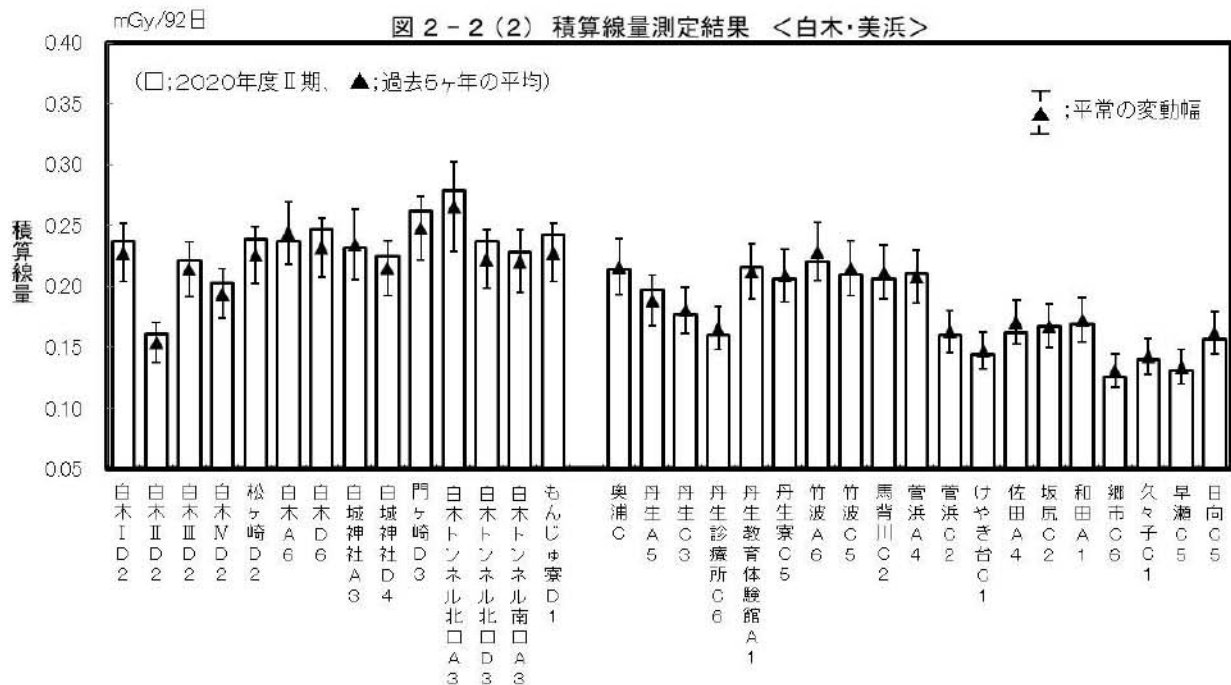
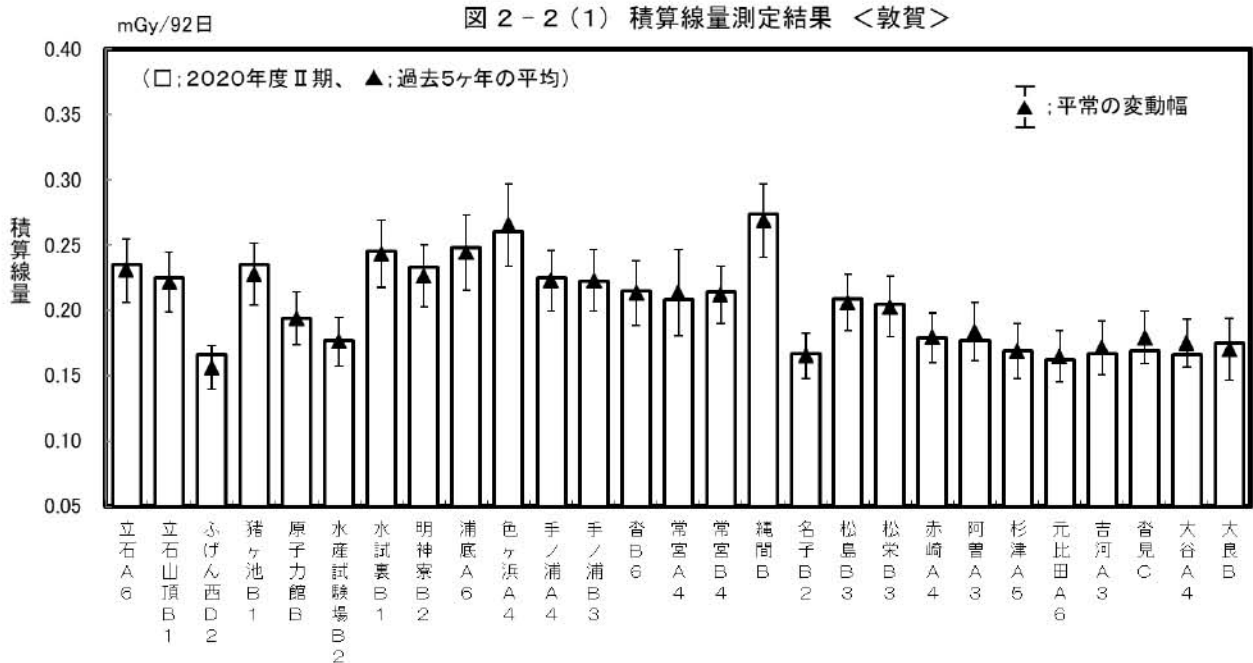


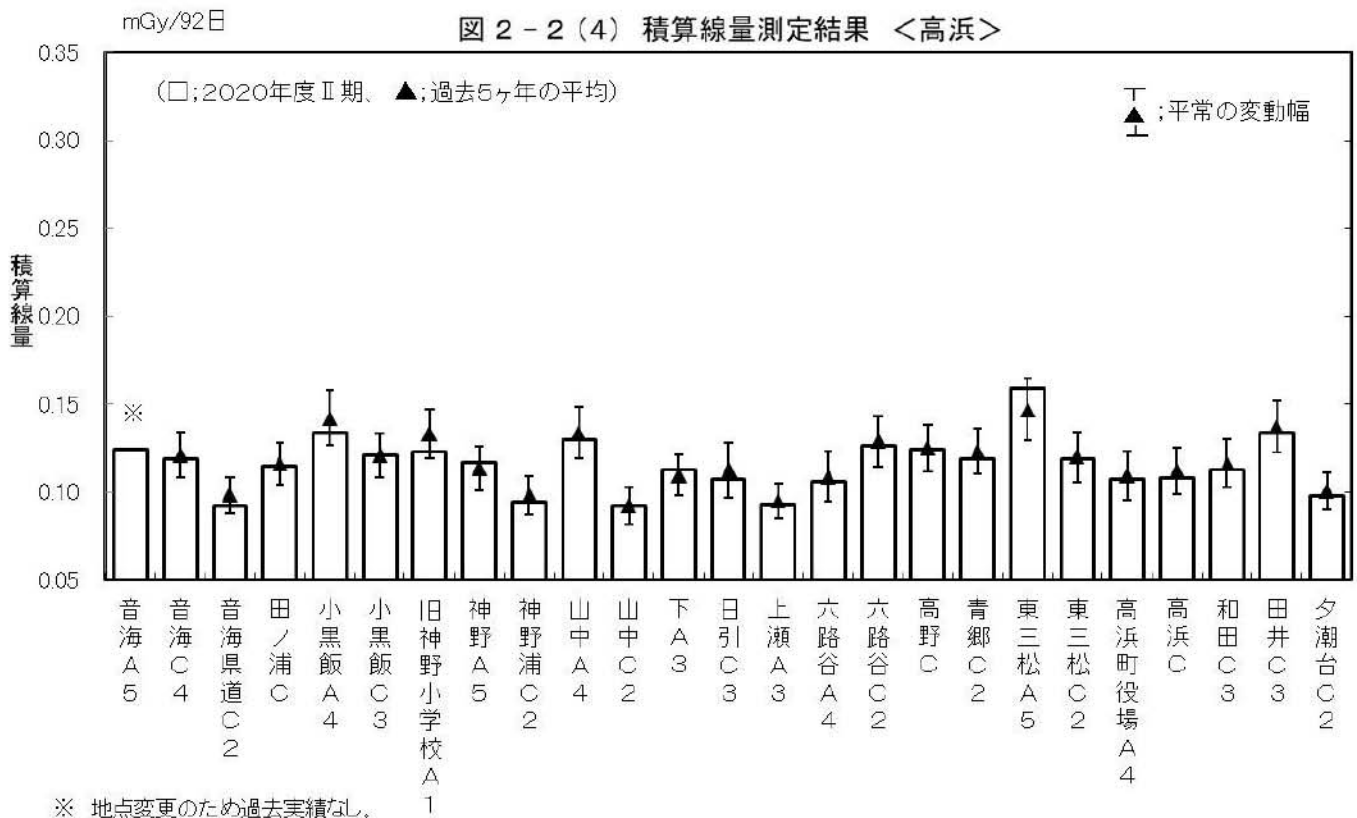
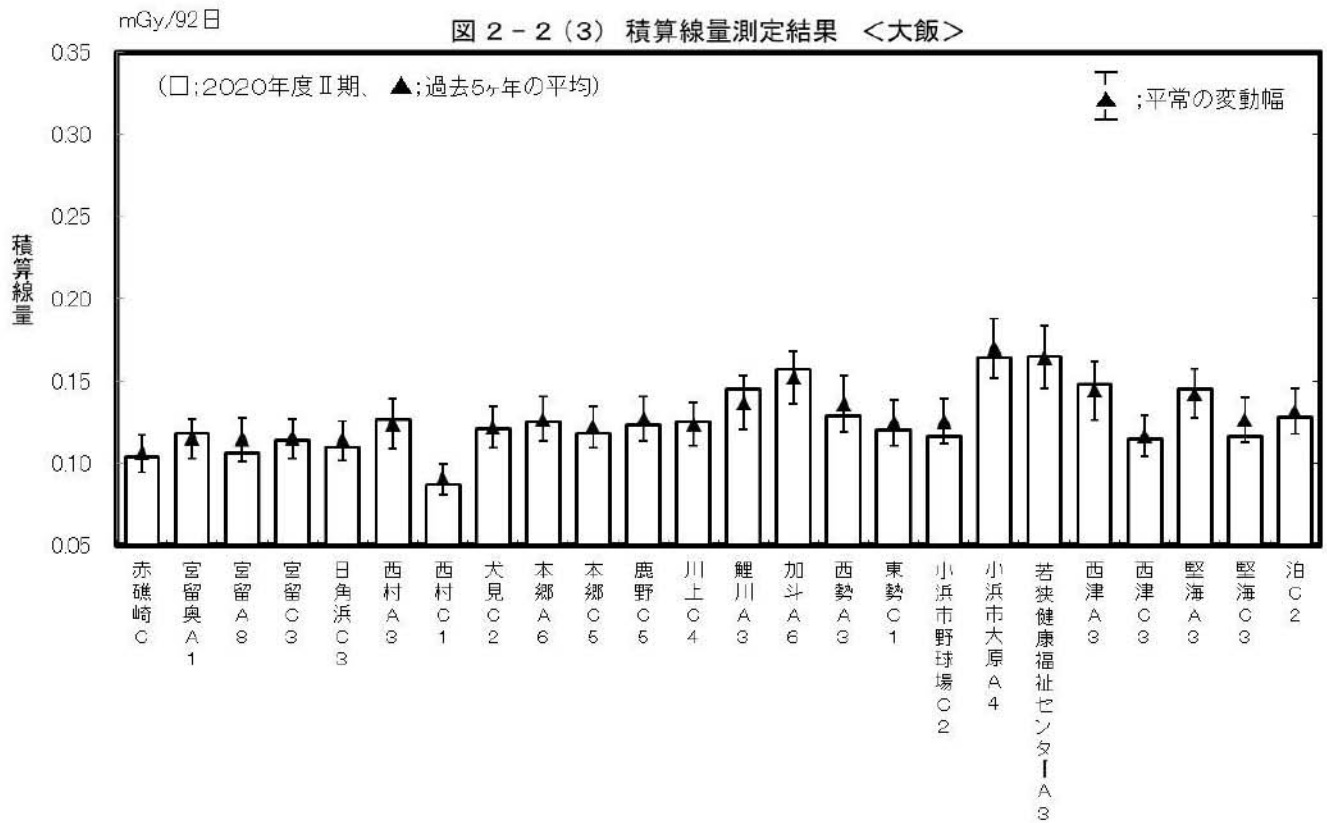


② 積算線量（3ヶ月積算値）

今期の積算線量測定結果を「測定値の取扱い(p. 18(2)参照)」により評価した結果、県内原子力発電所に起因する線量上昇は観測されなかった。図 2-2 に各測定地点の積算線量測定結果を示す。

(表 3-3-2 (p. 45~p. 48)参照)







## (2) 放射能測定結果

### ① 浮遊じん放射能の連続測定

原子力施設からの予期しない放射性物質の放出の早期検出および周辺環境への影響評価を目的とした今期の浮遊じん放射能連続測定の結果、発電所に起因する人工放射性核種を監視する指標としているベータ/アルファ放射能濃度比では、県内原子力発電所に起因する変動は観測されなかった。また、ベータ放射能濃度およびアルファ放射能濃度は、いずれも天然放射能のレベルであった。

(表 3-3-3 (p. 49~p. 50) 参照)

### ② 環境試料中のガンマ線放出核種の放射能分析

#### ア) 周辺住民等の被ばく線量の推定および評価を目的とした項目

大気、陸水、農畜産物（原乳）、指標植物（ヨモギ）および海産食品を調査した。このうち指標植物（ヨモギ）および海産食品の一部試料からセシウム-137 が検出され、海産食品の一部試料からは過去5ヶ年実績を超えて検出されたが、環境安全上問題となるレベルに比べてはるかに低い濃度であった。

#### イ) 環境における放射性物質の蓄積状況把握ならびに原子力施設からの予期しない放射性物質の放出の早期検出および周辺環境への影響評価を目的とした項目

陸土、指標植物（松葉）、降下物、海水、海底土および指標海産生物を調査した。このうち陸土、海水、海底土および指標海産生物の一部試料からセシウム-137 が検出されたが、過去5ヶ年実績の範囲内であり、これまでの検出実績と比べて特に大きな変動は認められなかった。

なお、いずれも県内原子力発電所に起因するものではなく過去の核実験フォールアウトが主要因と考えられる。

表 2-2 に試料ごとに今期検出されたセシウム-137 の検出範囲を示す。

(表 3-3-4 (p. 51~p. 62) 参照)

表 2-2 今期のセシウム-137 分析結果

単位:浮遊じん(mBq/m<sup>3</sup>)、原乳(Bq/l)、降下物(Bq/m<sup>2</sup>)、陸水・海水(mBq/l)、その他(Bq/kg)

地区・期間 試料	敦賀		白木		美浜	
	今期	15~19年度	今期	15~19年度	今期	15~19年度
浮遊じん	—	—	—	—	—	—
陸水	—	—	—	—	—	—
陸土	22	0.9~25	/	ND~1.7	/	1.1~7.2
農畜産物(大根葉)	/	—	/	—	/	—
農畜産物(精米)*	/	0.1	/	—	/	—
農畜産物(原乳)	/	—	/	—	—	—
指標植物(ヨモギ)	—	ND~0.4	—	ND~0.2	0.2	ND~0.7
指標植物(松葉)	—	—	—	—	/	—
降下物	—	—	—	—	—	—
海水	1.5~2.0	ND~2.4	ND~1.3	ND~2.4	ND~2.1	ND~2.9
海底土	ND~1.4	ND~3.2	—	—	ND~5.6	ND~9.4
海産食品(魚類)	/	ND~0.3	0.1	0.1~0.2	0.1	0.0~0.2
”(無脊椎動物)	—	ND~0.0	—	ND~0.0	—	ND~0.0
”(海藻類)	/	—	/	—	/	—
指標海産生物	—	ND~0.1	—	—	—	ND~0.1

地区・期間 試料	大飯		高浜		広域	
	今期	15~19年度	今期	15~19年度	今期	15~19年度
浮遊じん	—	—	—	—	/	/
陸水	—	—	—	—	/	/
陸土	/	0.9~3.0	/	1.0~5.4	10	1.1~19
農畜産物(大根葉)	/	—	/	—	/	/
農畜産物(精米)*	/	—	/	—	/	/
農畜産物(原乳)	/	—	/	—	/	/
指標植物(ヨモギ)	—	—	—	ND~0.1	—	ND~0.1
指標植物(松葉)	/	—	/	—	/	—
降下物	—	—	—	—	—	ND~0.1
海水	2.3	ND~3.0	—	ND~2.8	/	1.5~2.3
海底土	—	ND~3.7	0.7~1.0	ND~2.2	/	/
海産食品(魚類)	0.1	ND~0.3	/	ND~0.2	/	/
”(無脊椎動物)	ND~0.1	—	ND~0.0	ND~0.1	/	/
”(海藻類)	/	—	/	—	/	/
指標海産生物	—	ND~0.0	ND~0.1	ND~0.1	/	—

(注1) 実績欄の値は、対象となる試料の過去5ヶ年全ての測定結果を地区ごとに集計したものである。

(注2) 「/」は今期調査対象外、「ND」または「—」は検出限界値未満、「0.0」は0.05未満で検出限界値以上の測定値であることを示す。

\* 過去実績は調査を開始した2019年度のみ。

③ 環境試料中のトリチウムの放射能分析

ア) 周辺住民等の被ばく線量の推定および評価を目的とした項目

大気中水分および陸水を調査し、このうち大気中水分の一部試料からは、県内原子力発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、環境安全上問題となるレベルと比べてはるかに低い濃度であった。

イ) 環境における放射性物質の蓄積状況把握ならびに原子力施設からの予期しない放射性物質の放出の早期検出および周辺環境への影響評価を目的とした項目

雨水および海水を調査し、いずれも一部試料から、県内原子力発電所の通常の放射性廃棄物管理放出に伴うトリチウムが検出されたが、これまでの検出実績と比べて特に大きな変動は認められなかった。

表 2-3 に、試料ごとに今期検出されたトリチウムの検出範囲を示す。

(表 3-3-5 (p. 63~p. 67) 参照)

表 2-3 今期のトリチウム分析結果

(単位: Bq/l)

地区・期間 試料	敦賀		白木		美浜	
	今期	15~19年度	今期	15~19年度	今期	15~19年度
大気中水分	0.6 ~ 2.4	0.5 ~ 3.8	ND ~ 1.1	ND ~ 2.1	1.3 ~ 3.0	0.7 ~ 3.0
陸水	0.7	ND ~ 1.0	0.7	ND ~ 1.1	0.8 ~ 0.9	ND ~ 1.2
雨水	0.6 ~ 1.2	0.5 ~ 2.5	0.5 ~ 1.5	ND ~ 1.8	1.2 ~ 2.5	0.5 ~ 1.7
海水	ND ~ 1.6	ND ~ 20	-	ND ~ 1.2	1.1 ~ 1.3	ND ~ 3.7

地区・期間 試料	大飯		高浜		広域	
	今期	15~19年度	今期	15~19年度	今期	15~19年度
大気中水分	1.7 ~ 2.6	0.7 ~ 2.8	3.4 ~ 5.1	1.1 ~ 12	-	ND ~ 1.6
陸水	0.8	ND ~ 1.1	0.8 ~ 1.0	ND ~ 1.0	/	/
雨水	2.2 ~ 3.0	0.7 ~ 2.8	0.9 ~ 3.1	0.5 ~ 6.3	-	ND ~ 1.3
海水	3.0 ~ 4.1	ND ~ 3.8	0.5 ~ 11	ND ~ 12	/	ND ~ 0.6

(注1) 実績欄の値は、対象となる試料の過去5ヶ年全ての測定結果を地区ごとに集計したものである。

(注2) 「/」は今期調査対象外、「ND」または「-」は検出限界値未満であることを示す。

(参考1) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなる大気および食品中の核種濃度

(単位: 大気 (mBq/m<sup>3</sup>)、その他 (Bq/kg 生))

	大気	魚類	無脊椎動物	海藻類	葉菜
<sup>137</sup> Cs	160	53	530	260	210
<sup>3</sup> H	/	16,000	160,000	82,000	33,000
1日あたりの摂取量	22.2 m <sup>3</sup>	200 g	20 g	40 g	100 g

1日当たり最下段の量を1年間摂取し続けた場合の濃度。トリチウム(<sup>3</sup>H)以外の核種において葉菜の除染係数を0.5とした。海藻や葉菜の保存後の放射能の減衰は考慮されていない。トリチウムは有機結合型トリチウムとした場合の値。

(参考2) 成人の預託実効線量が 0.05 ミシーベルトとなるトリチウム濃度(単位: Bq/l)

水道水	大気中水分
2,900	34,000

トリチウムが海水から海産物(魚貝藻類)へ移行し、それを成人が1年間摂取した場合に預託実効線量が0.05 ミシーベルトとなる海水中トリチウム濃度は12,000Bq/lである。ただし、すべて有機結合型トリチウムと仮定した。また、大気中水分は年間の平均水分量を10ml/m<sup>3</sup>と仮定して算出した。

### 3 資料





## (参考) 測定値の取扱いについて

### (1) 空間放射線量率連続測定

- ① 空間放射線量率は「空気吸収線量率」とし、「nGy/h」で表す。
- ② 測定値は小数点以下第1位までとし、第2位を四捨五入する。
- ③ リアルタイムに収集された10分値や1時間値を確認する。収集したデータに対してはシステムによる自動チェックのほか、職員による詳細な確認を行う。
- ④ 測定結果を確認し、平常の変動幅を超えた場合は、降雨・発雷等の気象状況、近接局の結果、放射線のエネルギー情報等を確認し、変動原因を調査する。
- ⑤ 平常の変動幅は、各月の「平均値+3×標準偏差」とする。
- ⑥ 報告書では、測定値から算出した1時間値を報告する。また、調査地点ごとに各月の最高値、最低値、平均値および標準偏差を記載し、変動原因を報告するとともに、原子力施設からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。
- ⑦ 変動原因の報告において「降雨」とする条件は基本的に以下の場合とし、気象観測装置の設置状況等を考慮して総合的に判断する。
  - (a) 雨量計(0.5 mm以上)の指示値があった場合、指示開始1時間前から指示終了後2時間までを「降雨あり」とする。
  - (b) 感雨計の指示があった場合、指示開始から終了後1時間までを「降雨あり」とする。
  - (c) 空間線量率測定地点で気象観測をおこなっていない地点では、近接局の雨量計または感雨計の指示値により「降雨あり/なし」を判断する。

### (2) 積算線量測定

- ① 積算線量は「空気吸収線量」を、「mGy/92日」単位に換算する。
- ② 測定値は、小数点以下第3位まで表示し、第4位を四捨五入する。
- ③ 測定結果を確認し、平常の変動幅を超えた場合は、周辺環境の変化、降雨・発雷等の気象状況等を確認し、原因を調査する。
- ④ 平常の変動幅は、地点ごとに、過去5ケ年実績から求める「平均値±3×相対標準偏差×平均値」とする。なお、相対標準偏差は、過去の平均的な値である3.5%とする。ただし、自然放射線の変動等でこの平均的な変動範囲を上回る固有の変動幅がある地点(蓄積データが2年に満たない地点を除く)については、地点ごとに求めた過去5ケ年の標準偏差を用いる。

### (3) 浮遊じん放射能の連続測定

- ① 浮遊じん放射能は、「ベータ( $\beta$ )放射能濃度」および「アルファ( $\alpha$ )放射能濃度」並びにこれらから算出した「 $\beta/\alpha$ 放射能濃度比」を対象とし、濃度は「Bq/m<sup>3</sup>」、濃度比は「%」で表す。
- ② 測定値は小数点以下第1位まで、濃度比は整数とし、それぞれその次の位を四捨五入する。
- ③ リアルタイムに収集された10分値や3時間値を確認する。収集したデータに対してはシステムによる自動チェックのほか、職員による詳細な確認を行う。
- ④ 測定結果を確認し、 $\beta/\alpha$ 放射能濃度比が平常の変動幅を超え、 $\beta$ 放射能濃度が高いデータについては、風速等の気象状況、近接局の結果、空間線量率等を確認し、変動原因を調査する。
- ⑤ 平常の変動幅は、各月の「平均値+3×標準偏差」とする。
- ⑥ 報告書では、測定のサイクルである3時間値を報告する。また、調査地点ごとに各月の最高値、最低値、平均値および標準偏差を記載し、変動原因を報告するとともに、原子力施設等からの影響が確認された場合には、その状況を報告する。

【参考】浮遊じん放射能が天然放射性核種の場合、放射能濃度は通常 0.1～数 10 Bq/m<sup>3</sup>程度変化するが、 $\beta/\alpha$ 放射能濃度比はほぼ一定である。一方、主に  $\beta$ 線放出核種である発電所由来の人工放射性核種がこれに加わった場合、 $\beta/\alpha$ 放射能濃度比は高くなる特徴を持っている。

(4) ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線放出核種分析

- ① 環境試料中の放射性物質の濃度は、放射能濃度「Bq/kg」、「Bq/L または mBq/L」等で表す。
- ② 放射性物質は、放射能濃度がその誤差の 3 倍以上であるとき「検出」とみなす。
- ③ 測定値は、有効数字 2 桁または各表示単位の小数点以下第 1 位までとし、それぞれ次の位を四捨五入する。
- ④ 測定結果を確認し、放射能濃度が平常の変動幅を超えた場合は、周辺環境の変化等を確認し、原因を調査する。なお、各種環境試料中の放射能濃度については、試料の種類によっても、また核種や環境条件によっても異なるため、関連する核種（例えばセシウム-137 の場合はセシウム-134）の有無等も考慮し、起源を判断する。
- ⑤ 平常の変動幅は、地点ごとに、過去 5 ケ年実績の最大値とする。

(5) トリチウム分析

- ① トリチウムの濃度は、放射能濃度「Bq/L」として表す。
- ② トリチウムは、放射能濃度がその誤差の 3 倍以上であるとき「検出」とみなす。
- ③ 測定値は、有効数字 2 桁または各表示単位の小数点以下第 1 位までとし、それぞれ次の位を四捨五入する。
- ④ 測定結果を確認し、放射能濃度が平常の変動幅を超え、発電所の寄与が考えられる場合は、周辺環境の変化等を確認し、原因を調査する。
- ⑤ 平常の変動幅は、地点ごとに、過去 5 ケ年実績の最大値とする。



(2) 調査地点

表 3-2-1 空間放射線量率および大気浮遊じんの連続測定地点

敦賀地区	立石 A ☆ (八坂神社)	(1)	大飯地区	宮留 A ☆ (袖ヶ浜海水浴場)	(1)	
	浦底 A ☆ (明神寮下県道脇)	(2)		日角浜 A ☆ (大島小学校)	(2)	
	敦賀 A (福井県敦賀合同庁舎)	(3)		長井 A (地区ゲートボール場横)	(3)	
	東郷 A (咸新小学校)	(4)		佐分利 A (きのこの森)	(4)	
	栗野 A (黒河小学校)	(5)		宮留 C (エルパーク大飯下三叉路)	(5)	
	立石 B (集落入口県道脇)	(6)		日角浜 C (旧大島公民館)	(6)	
	立石山頂 B (山頂付近)	(7)		本郷 C (おおい町役場)	(7)	
	ふげん北 D (北敷地境界付近)	(8)		鹿野 C (佐分利小学校)	(8)	
	ふげん西 D (西敷地境界付近)	(9)		川上 C (川上公民館)	(9)	
	猪ヶ池 B (敦賀原子力館下)	(10)		小浜 A (小浜市役所)	(10)	
	水試裏 B (水産試験場裏)	(11)		阿納尻 A (内外海小学校)	(11)	
	浦底 B (県道脇・剣神社西)	(12)		口名田 A (小浜市総合運動場)	(12)	
	色ヶ浜 B (白山神社)	(13)		遠敷 A (福井県若狭合同庁舎)	(13)	
	縄間 D (西浦駐在所横)	(14)		加斗 C (加斗小学校)	(14)	
	赤崎 D (赤崎区民センター)	(15)		小浜 C (小浜市営野球場)	(15)	
	五幡 B (東浦公民館)	(16)		西津 C (小浜漁協西津支所)	(16)	
	阿曾 D (東浦体育館)	(17)		堅海 C (県栽培漁業センター)	(17)	
	杉津 B (東浦小中学校下国道脇)	(18)		高浜地区	音海 A ☆ (旧音海小中学校)	(1)
	大良 A (道の駅河野)	(19)			小黒飯 A ☆ (集落北県道脇)	(2)
	河野 A (南越前町河野総合事務所)	(20)			神野浦 A ☆ (気比神社)	(3)
	板取 A (今庄 3 6 5 スキー場)	(21)			山中 A (内浦小中学校)	(4)
	甲楽城 B (河野小学校前)	(22)			三松 A (JR三松駅)	(5)
白木地区	白木 A ☆ (白木公民館東県道脇)	(1)	音海 C (音海漁港奥)		(6)	
	白木峠 A ☆ (旧道市町境)	(2)	田ノ浦 C (南東敷地境界)		(7)	
	白木 I D (北東敷地境界)	(3)	小黒飯 C (白浜トンネル北口)		(8)	
	白木 II D (東南東敷地境界)	(4)	神野浦 C (集落南西道路脇)		(9)	
	白木 III D (南南東敷地境界)	(5)	日引 C (旧日引小学校)		(10)	
	白木 IV D (南西敷地境界)	(6)	青郷 C (青郷小学校)		(11)	
	松ヶ崎 D (松ヶ崎)	(7)	高浜 C (高浜小学校)		(12)	
美浜地区	丹生 A ☆ (丹生バス停)	(1)	和田 C (和田小学校)		(13)	
	竹波 A ☆ (竹波区内公園)	(2)	田井 C (田井グラウンド)		(14)	
	坂尻 A (坂尻トシ東側出口南)	(3)	夕潮台 C (夕潮台公園)		(15)	
	久々子 A (美浜町総合体育館)	(4)	広域地区	足田 A (愛発公民館)	(1)	
	奥浦 C (奥浦公園奥)	(5)		白山 A (白山小学校)	(2)	
	丹生 C (丹生診療所)	(6)		白崎 A (越前市白崎公園)	(3)	
	丹生寮 C (関電丹生寮)	(7)		瓜生 A (越前市瓜生水と緑公園)	(4)	
	竹波 C (高那弥神社)	(8)		今立 A (越前市今立歴史民族資料館)	(5)	
	菅浜 C (農業構造改善センター)	(9)		宇津尾 A (広野地区農業集落排水処理施設)	(6)	
	佐田 C (美浜東小学校)	(10)		湯尾 A (南越消防組合南消防署)	(7)	
	郷市 C (美浜町役場)	(11)		南条 A (南越前町役場)	(8)	
	早瀬 C (水無月神社)	(12)		古木 A (南越前町ふるさと交流センターきらめき)	(9)	
	日向 C (日向漁業センター)	(13)		今庄 B (南越前町今庄総合事務所前国道脇)	(10)	
		米ノ A (越前南部地区漁業集落排水処理施設)		(11)		
		織田 A (織田中学校)		(12)		
		玉川 A (越前町玉川地区集会施設)		(13)		
		越前厨 D (城崎小学校脇)	(14)			
		新庄 C (日吉神社)	(15)			
		三重 A (名田庄総合運動場)	(16)			
		納田終 A (頭巾山青少年旅行村)	(17)			
		名田庄 C (名田庄観光館)	(18)			
		神子 A (若狭町みさき漁村体験施設)	(19)			
		三方 C (若狭町役場三方庁舎)	(20)			
		鳥羽 A (鳥羽小学校)	(21)			
		熊川 A (道の駅若狭熊川宿)	(22)			
		上中 C (上中体育館)	(23)			

☆印の地点では、浮遊じんの放射能の連続測定を行っている

表 3-2-2 積算線量測定地点

敦賀地区	立石 A 6 (八坂神社)	(1)	美浜地区	奥浦 C (奥浦公園奥)	(1)
	立石山頂 B 1 (山頂付近)	(2)		丹生 A 5 (中村旅館)	(2)
	ふげん西 D 2 (西敷地境界付近)	(3)		丹生 C 3 (丹生漁港)	(3)
	猪ヶ池 B 1 (敦賀原子力館下)	(4)		丹生診療所 C 6 (丹生診療所)	(4)
	原子力館 B (敦賀原子力館敷地)	(5)		丹生教育体験館 A 1 (旧丹生小中学校)	(5)
	水産試験場 B 2 (水産試験場)	(6)		丹生寮 C 5 (関電丹生寮)	(6)
	水試裏 B 1 (水産試験場裏)	(7)		竹波 A 6 (竹波区内公園)	(7)
	明神寮 B 2 (明神寮)	(8)		竹波 C 5 (高那弥神社)	(8)
	浦底 A 6 (剣神社)	(9)		馬背川 C 2 (ポンプ場)	(9)
	色ヶ浜 A 4 (本隆寺)	(10)		菅浜 A 4 (旧菅浜保育所)	(10)
	手ノ浦 A 4 (舟幸寺)	(11)		菅浜 C 2 (藤田旅館看板付近)	(11)
	手ノ浦 B 3 (舟幸寺)	(12)		けやき台 C 1 (けやき台ハイツ)	(12)
	沓 B 6 (常福寺)	(13)		佐田 A 4 (あおなみ保育園)	(13)
	常宮 A 4 (常宮小学校)	(14)		坂尻 C 2 (ゲートボール場脇)	(14)
	常宮 B 4 (常宮神社)	(15)		和田 A 1 (ふる里交流センター)	(15)
	縄間 B (宗清寺)	(16)		郷市 C 6 (美浜町役場)	(16)
	名子 B 2 (名子バス停)	(17)		久々子 C 1 (県園芸試験場)	(17)
	松島 B 3 (原電松島寮)	(18)		早瀬 C 5 (水無月神社)	(18)
	松栄 B 3 (敦賀地方合同庁舎)	(19)		日向 C 5 (日向漁業センター)	(19)
	赤崎 A 4 (赤崎小学校グラウンド)	(20)			
	阿曾 A 3 (ふれあい会館)	(21)		赤礁崎 C (関電あかぐり崎クラブ)	(1)
	杉津 A 5 (東浦小中学校)	(22)		宮留奥 A 1 (あかぐり海釣公園)	(2)
	元比田 A 6 (集落掲示板横)	(23)		宮留 A 8 (宮留区生活改善センター横)	(3)
	吉河 A 3 (原子力センター)	(24)		宮留 C 3 (エルパーク大飯下三叉路)	(4)
	沓見 C (原子力発電訓練センター)	(25)		日角浜 C 3 (旧大島公民館)	(5)
	大谷 A 4 (八幡神社)	(26)		西村 A 3 (常禅寺)	(6)
	大良 B (大良集会所)	(27)		西村 C 1 (西村トンネル南口県道脇)	(7)
		犬見 C 2 (集落手前道端)	(8)		
白木地区	白木 I D 2 (北東敷地境界)	(1)	本郷 A 6 (町営住宅サハムうらら)	(9)	
	白木 II D 2 (東南東敷地境界)	(2)	本郷 C 5 (おおい町役場)	(10)	
	白木 III D 2 (南南東敷地境界)	(3)	鹿野 C 5 (佐分利小学校)	(11)	
	白木 IV D 2 (南西敷地境界)	(4)	川上 C 4 (川上公民館)	(12)	
	松ヶ崎 D 2 (松ヶ崎)	(5)	鯉川 A 3 (牛尾神社)	(13)	
	白木 A 6 (白木公民館東県道脇)	(6)	加斗 A 6 (加斗小学校)	(14)	
	白木 D 6 (白木公民館東県道脇)	(7)	西勢 A 3 (民宿つどい前ゲートボール場)	(15)	
	白城神社 A 3 (神社鳥居横)	(8)	東勢 C 1 (旧道脇)	(16)	
	白城神社 D 4 (神社鳥居横)	(9)	区小浜市野球場 C 2 (小浜市営野球場)	(17)	
	門ヶ崎 D 3	(10)	小浜市大原 A 4 (栖雲寺)	(18)	
	白木トンネル北口 A 3	(11)	若狭健康福祉センター A 3	(19)	
	白木トンネル北口 D 3	(12)	西津 A 3 (水産高校)	(20)	
	白木トンネル南口 A 3 (渓流水貯水池横)	(13)	西津 C 3 (小浜漁協西津支所)	(21)	
	もんじゅ寮 D 1 (もんじゅ寮前)	(14)	堅海 A 3 (旧堅海小学校)	(22)	
		堅海 C 3 (県栽培漁業センター)	(23)		
		泊 C 2 (集落内郵便ボックス付近)	(24)		

表 3-2-2 積算線量測定地点 つづき

高 浜 地 区	音 海	A 5	(児玉旅館)	(1)
	音 海	C 4	(音海漁港奥)	(2)
	音海県道	C 2	(日本海港湾開発保上屋入口門付近)	(3)
	田ノ浦	C	(南東敷地境界)	(4)
	小黒飯	A 4	(寿奎寺裏旧道脇)	(5)
	小黒飯	C 3	(白浜神社北口)	(6)
	旧神野小学校	A 1		(7)
	神 野	A 5	(桃源寺)	(8)
	神 野 浦	C 2	(集落南西道路脇)	(9)
	山 中	A 4	(県テレメ観測局)	(10)
	山 中	C 2	(JA若狭内浦出張所)	(11)
	下	A 3	(産霊神社)	(12)
	日 引	C 3	(旧日引小学校)	(13)
	上 瀬	A 3	(山神神社)	(14)
	六 路 谷	A 4	(ふれあい会館)	(15)
	六 路 谷	C 2	(杉森神社横)	(16)
	高 野	C	(旧青郷小学校高野分校)	(17)
	青 郷	C 2	(青郷小学校)	(18)
	東 三 松	A 5	(東三松グラウンド)	(19)
	東 三 松	C 2	(民宿菘の家)	(20)
	高浜町役場	A 4	(高浜町役場旧庁舎前庭)	(21)
	高 浜	C	(高浜小学校)	(22)
	和 田	C 3	(和田小学校)	(23)
	田 井	C 3	(田井グラウンド)	(24)
	夕 潮 台	C 2	(夕潮台公園)	(25)

表 3-2-3 環境試料採取地点

項目	地区	採取地点
大 ヨ 気 ウ 中 素 131	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜	浦底A (県テレメ観測局)
		白木A (県テレメ観測局)
		竹波A (県テレメ観測局)
		宮留A (県テレメ観測局)
		日角浜A (県テレメ観測局)
		小黒飯A (県テレメ観測局)
浮 遊 じ ん	敦賀	立石A (県テレメ観測局) *
		立石B (原電モニタリングステーション)
		浦底A (県テレメ観測局)
		浦底B (原電モニタリングステーション)
		色ヶ浜B (原電モニタリングステーション)
		白木
	白木	白木A (県テレメ観測局)
		白木峠A (県テレメ観測局) *
	美浜	松ヶ崎D (機構モニタリングステーション)
		丹生A (県テレメ観測局) *
	大飯	丹生 (関電モニタポスト横)
		竹波A (県テレメ観測局)
		宮留A (県テレメ観測局)
		宮留 (関電モニタポスト横)
		日角浜A (県テレメ観測局)
		高浜
	高浜	音海A (県テレメ観測局) *
		音海 (関電モニタポスト横)
小黒飯A (県テレメ観測局)		
小黒飯 (関電モニタポスト横)		
神野浦A (県テレメ観測局)		
陸 水		敦賀
	白木	白木 (民家)
	美浜	丹生 (漁協飼料保管解凍設備横)
		菅浜 (菅浜多目的広場)
	大飯	宮留 (民家)
	高浜	小黒飯 (民家)
陸 土	敦賀	敦賀発電所北端周辺
	広域	勝山市池ヶ原 (奥越高原牧場)

(注1) \*の地点は採取のみ行い、必要に応じて測定を行う。

(注2) 図と各測定結果の採取地点欄に示している。

項目	地区	採取地点
農畜産物 (原乳)	美浜	山 上
指標植物 (ヨモギ)	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 広域	浦底 白木 竹波 日角浜 小黒飯 福井市原目町
指標植物 (松葉)	敦賀 白木	敦賀発電所北端周辺 白木 (白木トンネル北口付近)
降下物	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 広域	明神町 (敦賀原子力館) 浦底 (明神寮) 白木 (川崎重工事務所) 松ヶ崎 (機構モニタリングステーション) 竹波 (落合川取水場) 丹生 (関電丹生寮) 宮留 (県テレメ観測局) 日角浜 (ヴィラ大島) 高浜 小黒飯 (県テレメ観測局) 小和田 (小和田ポンプ所) 福井市原目町 (福井分析管理室)
大気 中水 水分	敦賀 白木 美浜 大飯 高浜 広域	立石A (県テレメ観測局) 猪ヶ池B (原電モニタリングポスト) 浦底A (県テレメ観測局) 浦底B (原電モニタリングステーション) 色ヶ浜B (原電モニタリングステーション) 白木 白木A (県テレメ観測局) 白木峠A (県テレメ観測局) 美浜 竹波A (県テレメ観測局) 竹波 (落合川取水場) 大飯 宮留A (県テレメ観測局) 日角浜 (関電モニタポスト横) 高浜 小黒飯A (県テレメ観測局) 神野浦 (関電モニタポスト横) 福井市原目町 (福井分析管理室)



図3-2-1 空間放射線量率および浮遊じん連続測定・積算線量測定地点（全域）

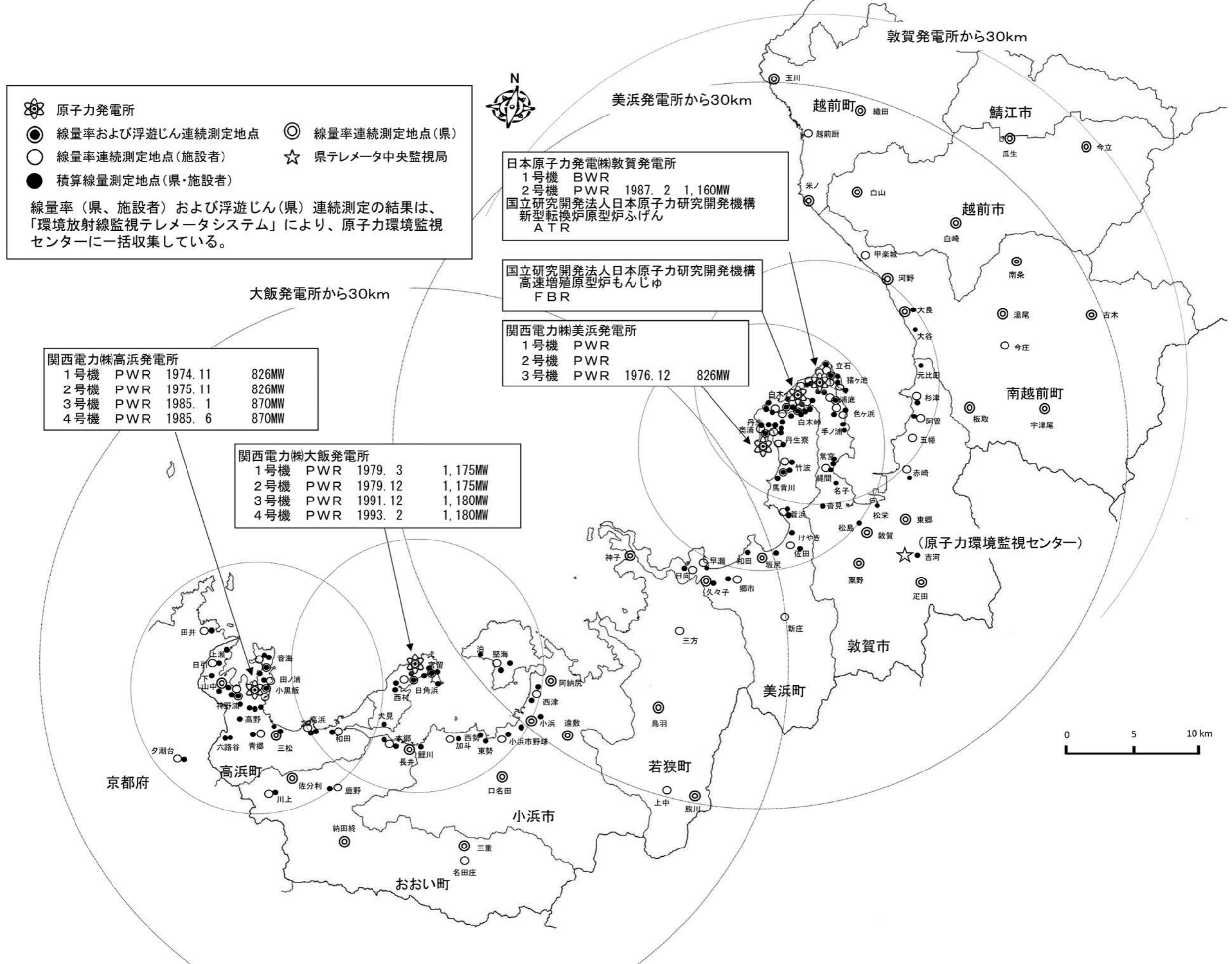




図3-2-2 環境試料採取地点  
その1 敦賀発電所および新型転換炉原型炉ふげん周辺

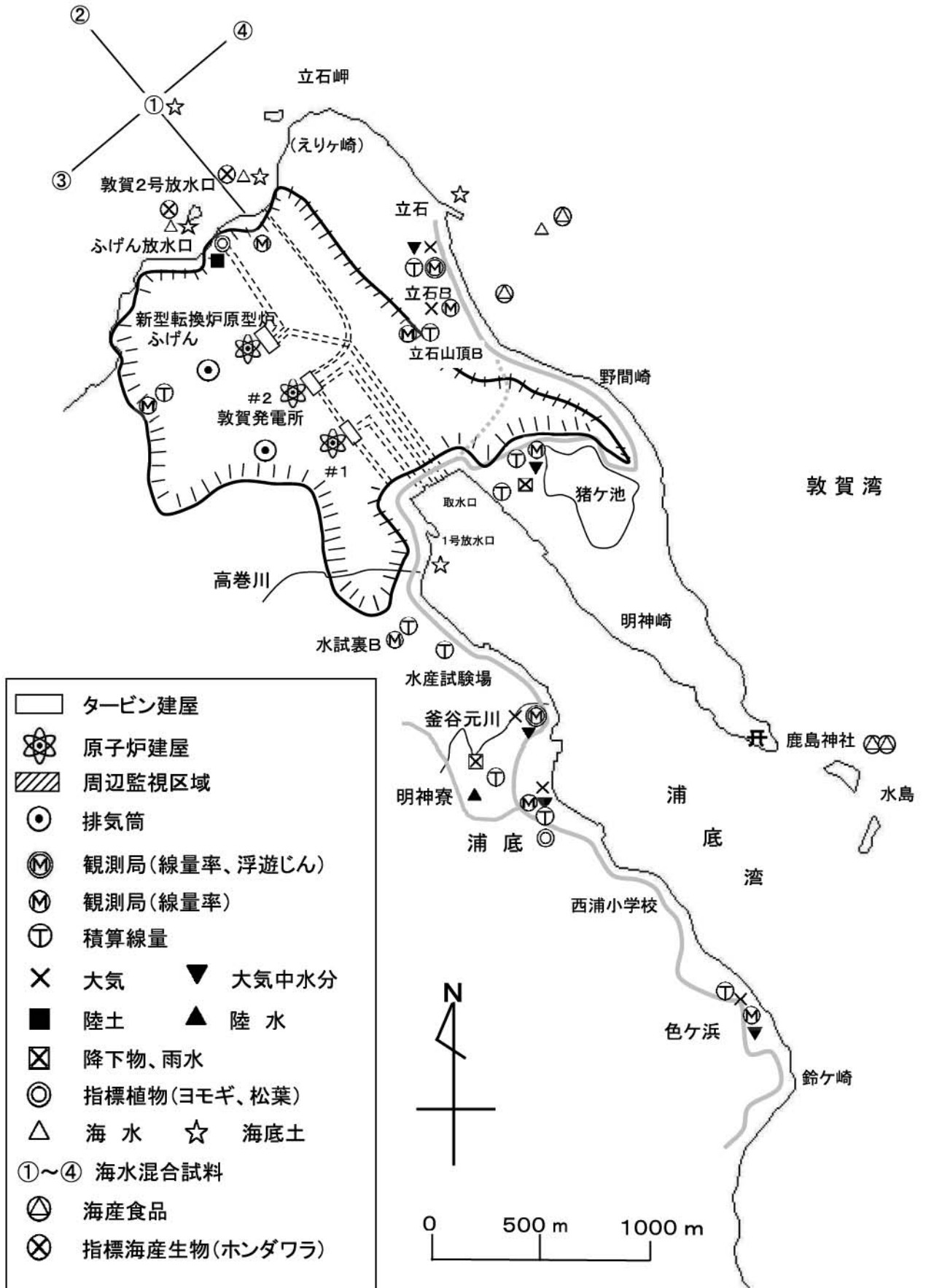




図 3-2-2 環境試料採取地点  
その2 高速増殖原型炉もんじゅ周辺

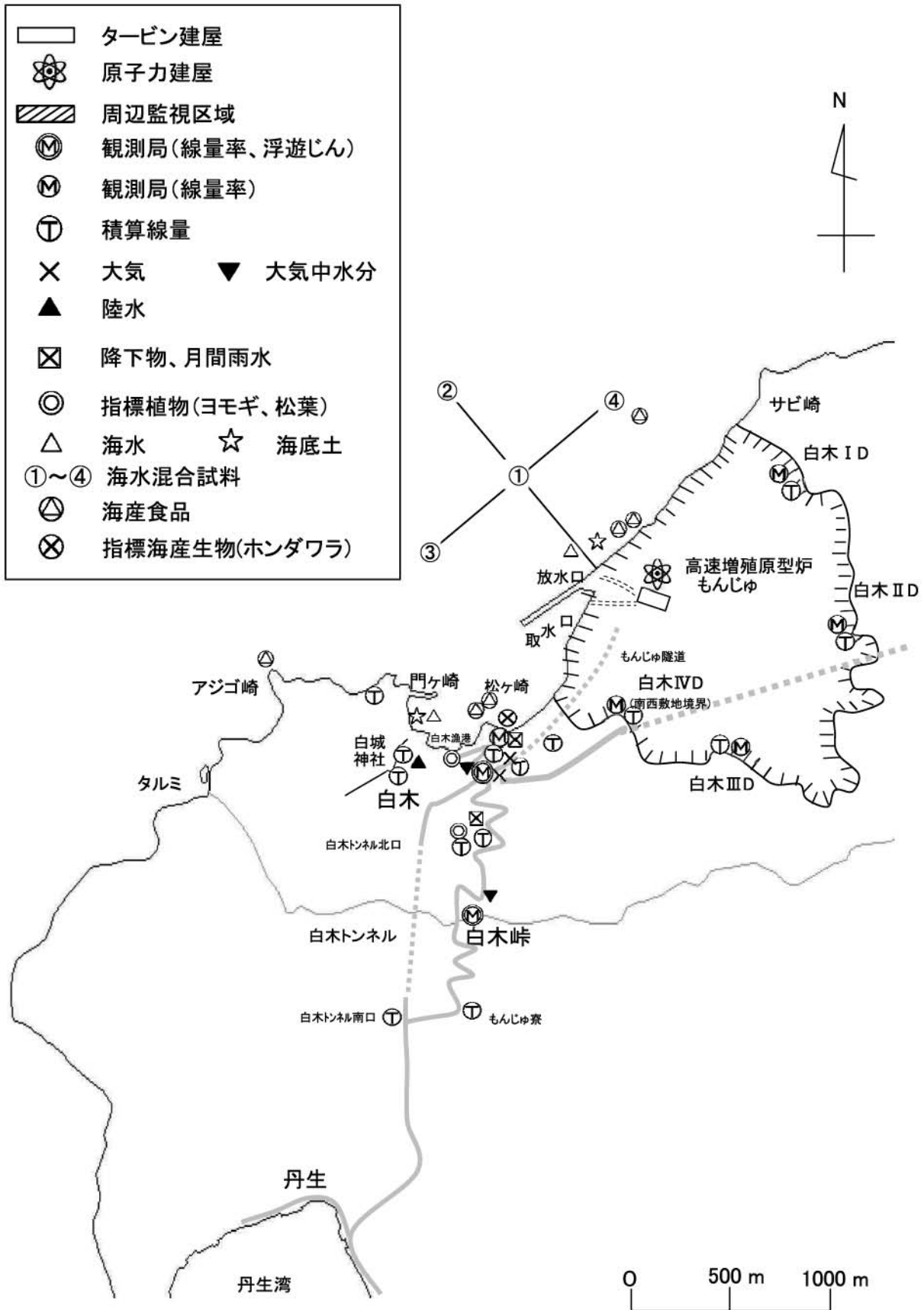


図3-2-2 環境試料採取地点  
その3 美浜発電所周辺

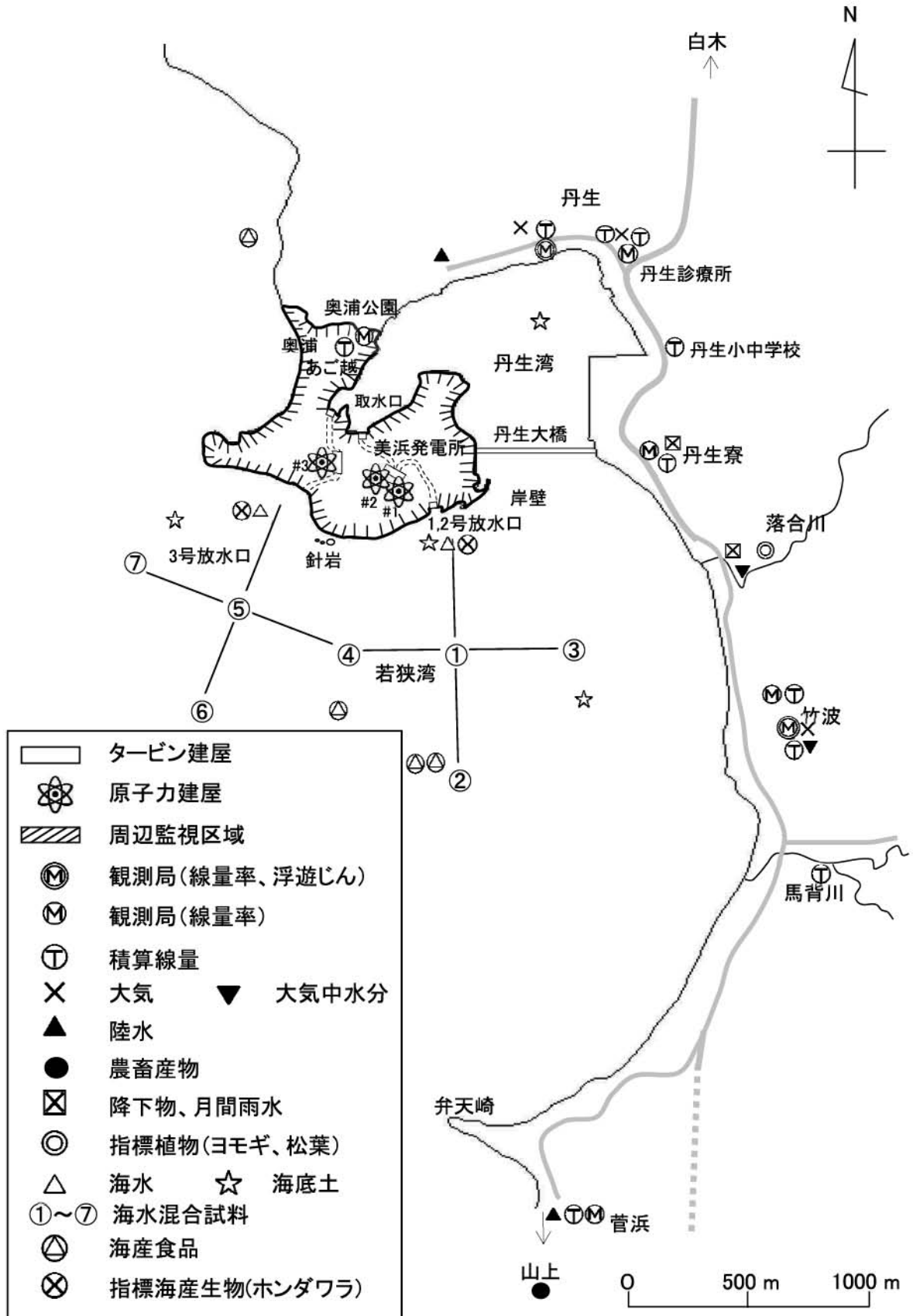


図3-2-2 環境試料採取地点  
その4 大飯発電所周辺

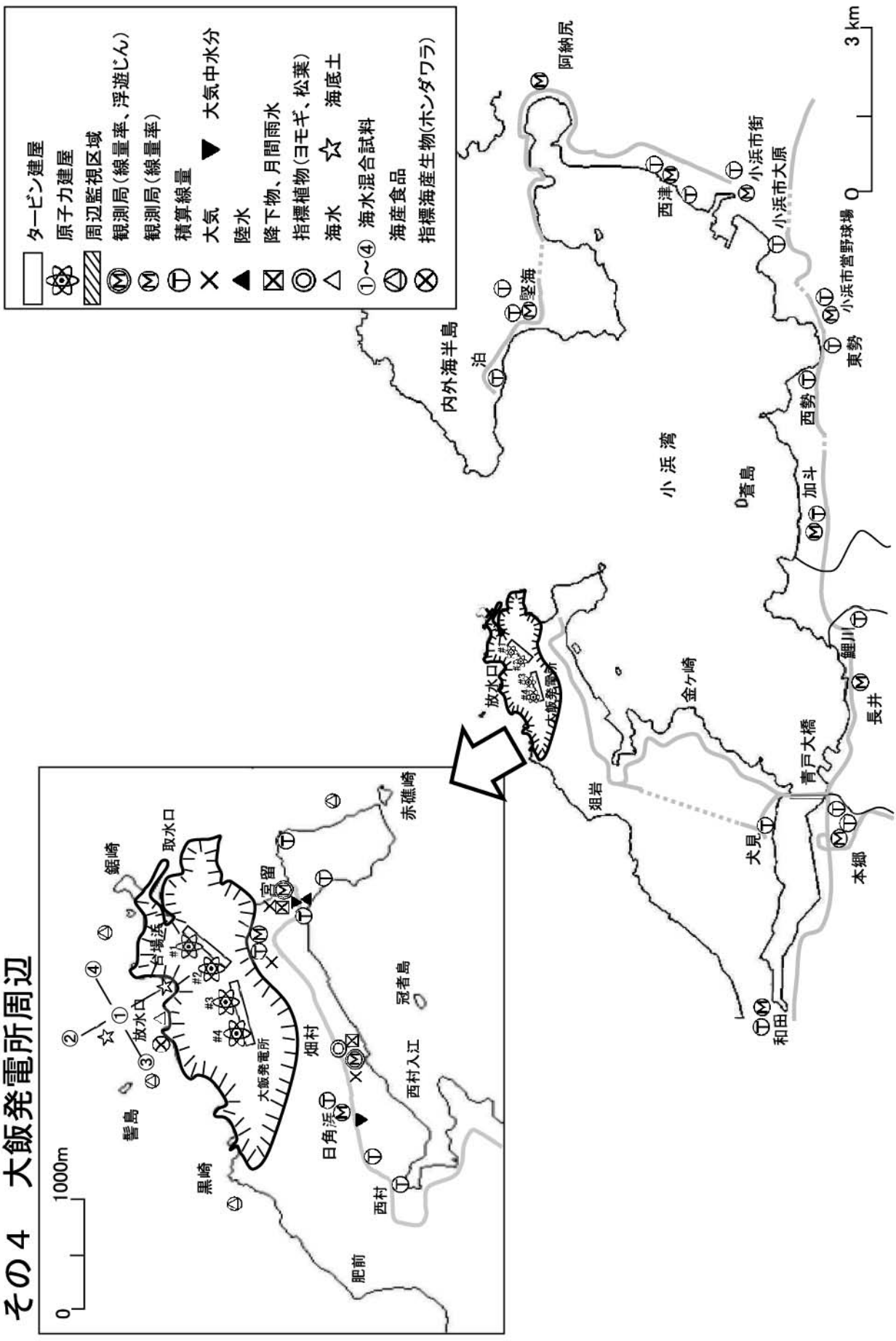


図3-2-2 環境試料採取地点  
その5 高浜発電所周辺

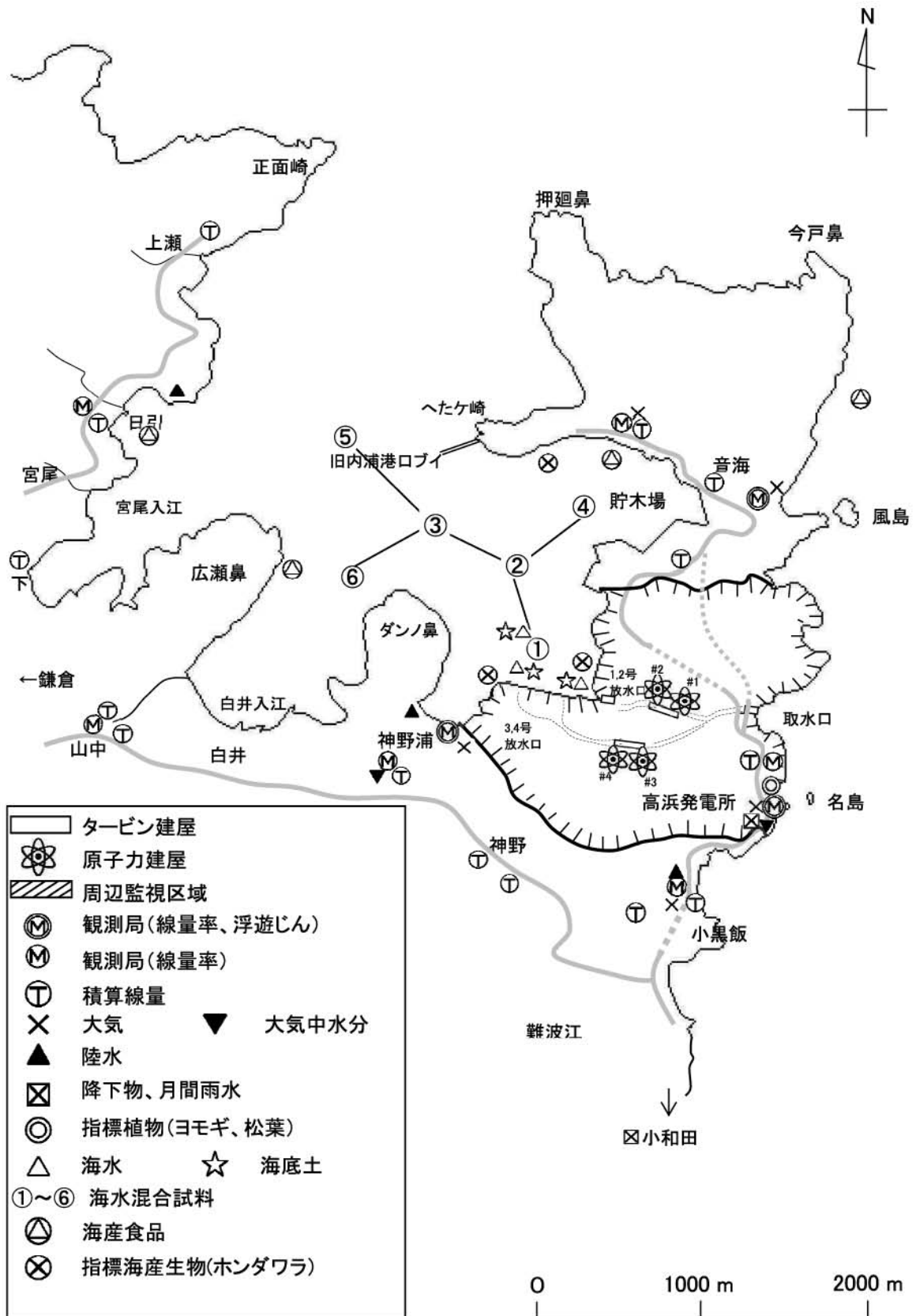


図3-2-2 環境試料採取地点  
その6 広域



### (3) 測定結果

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：閃電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	立石A	7月	69.9	55.8	58.2	2.1	17	17	0	59.1
		8月	63.8	56.4	58.9	1.1	5	3	2	
		9月	77.0	57.3	59.8	1.6	13	13	0	
	浦底A	7月	78.8	54.4	58.1	3.6	16	16	0	58.4
		8月	65.3	55.3	58.2	1.4	7	5	2	
		9月	78.5	55.6	59.2	2.4	16	16	0	
	敦賀A	7月	90.1	58.7	63.0	4.0	15	15	0	62.4
		8月	72.4	58.5	61.7	2.5	4	1	3	
		9月	85.0	58.5	61.9	3.0	19	19	0	
	東郷A	7月	89.3	57.8	62.6	4.1	17	17	0	63.0
		8月	72.9	59.1	62.4	1.6	5	4	1	
		9月	86.9	58.7	62.2	2.8	21	21	0	
	栗野A	7月	96.0	60.1	66.4	4.4	16	16	0	67.0
		8月	78.0	60.9	66.6	3.2	2	0	2	
		9月	91.8	62.2	67.4	3.4	15	15	0	
	立石B	7月	98.0	82.3	88.2	2.8	1	1	0	88.2
		8月	94.3	85.7	89.0	1.8	0	0	0	
		9月	100.4	87.0	92.4	3.1	0	0	0	
立石山頂B	7月	96.0	67.7	72.0	4.2	24	24	0	73.7	
	8月	82.2	69.6	73.8	1.9	5	4	1		
	9月	100.1	71.9	75.9	2.8	19	19	0		
ふげん北D	7月	80.8	55.5	59.8	3.9	19	19	0	62.2	
	8月	68.8	57.9	61.4	1.8	3	3	0		
	9月	82.5	60.0	63.5	2.4	21	21	0		
ふげん西D	7月	63.1	33.1	36.9	4.6	19	19	0	37.1	
	8月	48.3	34.0	36.6	1.4	6	6	0		
	9月	61.1	34.6	38.3	2.8	21	21	0		
猪ヶ池B	7月	104.4	71.8	76.4	5.2	22	22	0	77.0	
	8月	88.3	73.3	77.4	2.3	5	5	0		
	9月	105.5	73.4	79.3	3.4	17	17	0		
水試裏B	7月	94.6	72.6	76.5	3.4	18	18	0	78.2	
	8月	85.7	73.7	79.1	2.3	0	0	0		
	9月	97.3	74.5	80.3	2.7	8	8	0		
浦底B	7月	99.0	70.5	74.7	4.6	22	22	0	75.0	
	8月	83.8	71.2	74.1	1.6	9	5	4		
	9月	99.6	72.2	75.5	3.1	24	24	0		
色ヶ浜B	7月	99.1	75.1	79.0	4.2	20	20	0	79.3	
	8月	87.4	75.8	78.6	1.3	5	4	1		
	9月	99.7	75.8	79.3	2.6	21	21	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
敦賀	網間D	7月	96.8	70.1	74.5	4.6	20	20	0	74.2
		8月	82.9	71.2	74.6	1.8	11	4	7	
		9月	104.0	70.6	75.0	3.2	15	15	0	
	赤崎D	7月	71.4	46.0	49.6	3.8	19	19	0	49.5
		8月	59.3	46.2	48.3	1.1	5	5	0	
		9月	75.9	46.1	48.9	2.6	18	18	0	
	五幡B	7月	70.2	43.2	47.1	4.1	21	21	0	47.3
		8月	56.1	43.7	45.8	1.1	5	4	1	
		9月	72.8	43.8	46.3	2.5	22	22	0	
	阿曾D	7月	71.0	44.1	47.9	4.6	25	25	0	47.5
		8月	57.2	44.4	46.8	1.2	6	6	0	
		9月	76.0	44.7	47.8	2.6	16	16	0	
	杉津B	7月	74.8	45.2	49.4	5.0	22	22	0	51.0
		8月	60.1	46.2	49.1	1.6	6	6	0	
		9月	80.6	48.0	51.4	3.1	16	16	0	
大良A	7月	74.0	49.7	53.9	4.0	24	24	0	52.6	
	8月	59.5	50.0	53.6	1.4	5	5	0		
	9月	78.8	51.9	55.1	2.6	17	17	0		
河野A	7月	66.2	43.9	47.2	3.7	21	21	0	47.0	
	8月	53.0	44.1	45.8	0.9	10	6	4		
	9月	68.7	43.7	46.1	2.2	18	18	0		
板取A	7月	84.5	42.2	48.7	6.5	17	17	0	46.9	
	8月	57.3	43.7	46.0	1.2	9	9	0		
	9月	75.4	43.9	47.0	3.5	18	18	0		
甲楽城B	7月	68.6	40.6	44.0	4.3	23	23	0	43.4	
	8月	54.7	40.2	42.6	1.2	8	7	1		
	9月	69.9	41.1	43.3	2.7	20	20	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
白木	白木A	7月	92.1	62.5	67.4	4.3	19	19	0	67.8
		8月	79.0	64.4	67.8	1.5	7	7	0	
		9月	97.2	64.0	68.7	2.9	15	15	0	
	白木峠A	7月	88.0	58.8	63.3	4.8	21	21	0	64.5
		8月	76.9	60.3	64.0	1.7	5	5	0	
		9月	95.7	61.5	66.0	3.2	18	18	0	
	白木ID	7月	83.2	59.8	63.5	3.5	20	20	0	66.9
		8月	74.2	61.6	66.1	2.2	2	2	0	
		9月	87.8	65.0	69.5	2.1	11	11	0	
	白木IID	7月	64.9	34.1	38.6	4.9	20	20	0	40.2
		8月	50.7	35.3	38.0	1.6	6	6	0	
		9月	66.9	37.9	40.9	2.9	22	22	0	
	白木IIID	7月	74.5	48.4	52.7	4.4	19	19	0	54.8
		8月	64.3	49.5	53.7	1.9	4	4	0	
		9月	81.6	52.3	56.3	2.6	14	14	0	
	白木IVD	7月	70.1	41.7	46.0	4.5	22	22	0	47.3
		8月	56.2	42.6	46.4	1.8	5	5	0	
		9月	75.3	45.5	49.0	2.7	18	18	0	
松ヶ崎D	7月	88.7	60.4	64.7	4.2	20	20	0	64.0	
	8月	73.3	61.3	64.6	1.5	7	7	0		
	9月	90.8	61.2	65.4	2.6	16	16	0		

過去平均線量率：2017～2019年度



表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
美浜	丹生A	7月	86.2	57.8	61.8	4.2	20	20	0	60.7
		8月	69.6	58.6	61.4	1.1	8	5	3	
		9月	89.2	58.2	61.6	2.7	17	17	0	
	竹波A	7月	73.7	49.0	53.0	3.9	23	23	0	53.4
		8月	59.2	49.9	52.8	1.2	5	4	1	
		9月	80.6	50.2	53.6	2.8	20	20	0	
	坂尻A	7月	96.4	56.6	61.3	5.2	18	18	0	61.2
		8月	73.4	57.5	60.9	1.5	6	6	0	
		9月	92.4	57.6	61.7	3.5	19	19	0	
	久々子A	7月	84.1	47.2	51.3	4.5	20	20	0	50.9
		8月	60.7	48.0	50.5	1.6	3	3	0	
		9月	77.0	47.6	50.6	2.8	21	21	0	
	奥浦C	7月	84.9	54.8	59.2	4.3	21	21	0	60.3
		8月	68.7	55.6	60.3	1.5	4	4	0	
		9月	92.1	57.0	61.2	3.1	16	16	0	
	丹生C	7月	70.8	47.3	50.9	3.6	21	21	0	49.7
		8月	56.4	47.5	49.5	0.9	6	5	1	
		9月	72.4	47.2	50.0	2.4	22	22	0	
	丹生寮C	7月	74.1	44.6	48.6	4.3	20	20	0	47.7
		8月	55.5	45.5	47.8	1.1	5	5	0	
		9月	75.9	45.2	48.5	2.8	21	21	0	
竹波C	7月	92.2	68.1	71.9	3.4	20	20	0	72.3	
	8月	77.8	68.9	72.9	1.5	2	2	0		
	9月	97.6	69.7	74.0	2.4	16	16	0		
菅浜C	7月	58.3	33.3	37.3	3.4	16	16	0	37.2	
	8月	42.1	33.7	35.8	1.0	9	7	2		
	9月	61.9	33.9	36.3	2.5	19	19	0		
佐田C	7月	69.5	48.8	51.7	2.8	16	16	0	51.5	
	8月	57.3	48.8	50.3	0.8	7	6	1		
	9月	66.9	48.8	50.8	2.1	25	25	0		
郷市C	7月	61.6	31.8	36.0	4.2	17	17	0	34.9	
	8月	47.2	32.3	34.4	1.4	5	4	1		
	9月	59.7	32.1	34.8	2.8	21	21	0		
早瀬C	7月	48.1	30.5	33.2	2.7	16	16	0	32.8	
	8月	39.3	30.6	32.9	1.3	2	1	1		
	9月	48.0	29.3	32.9	1.9	21	21	0		
日向C	7月	61.8	38.2	41.3	3.7	18	18	0	40.6	
	8月	48.3	38.4	40.0	1.0	6	5	1		
	9月	61.7	37.9	40.3	2.4	21	21	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間平均線量率(M)	月間標準偏差(σ)	M+3σをこえた時間	M+3σをこえた原因とその時間		過去平均線量率
								降雨	その他	
大飯	宮留A	7月	53.1	21.7	25.1	3.7	16	16	0	24.7
		8月	40.0	22.0	24.4	1.9	6	6	0	
		9月	50.8	21.5	24.7	3.3	19	19	0	
	日角浜A	7月	58.2	27.9	31.2	3.7	18	18	0	31.1
		8月	44.1	28.1	30.5	1.8	8	8	0	
		9月	53.3	28.1	30.9	3.1	19	19	0	
	長井A	7月	57.0	32.5	35.8	3.8	24	24	0	35.8
		8月	51.4	32.9	35.1	1.6	6	6	0	
		9月	68.0	32.6	35.5	3.8	17	17	0	
	佐分利A	7月	74.1	37.7	41.6	4.1	13	13	0	42.2
		8月	57.4	38.4	42.0	2.0	5	5	0	
		9月	71.4	38.0	42.3	3.4	20	20	0	
	宮留C	7月	70.8	36.3	39.5	4.4	19	19	0	39.0
		8月	56.4	36.5	38.3	1.7	7	7	0	
		9月	70.2	36.3	39.1	4.0	19	19	0	
	日角浜C	7月	72.2	34.1	37.6	4.6	19	19	0	36.6
		8月	55.0	34.3	36.6	1.9	9	9	0	
		9月	67.3	34.0	37.1	4.0	20	20	0	
	本郷C	7月	65.3	39.8	42.8	3.4	21	21	0	42.7
		8月	53.8	40.2	42.1	1.4	6	6	0	
		9月	65.6	36.7	40.3	3.2	16	16	0	
	鹿野C	7月	72.9	38.5	42.3	4.1	15	15	0	42.6
		8月	57.2	38.8	41.9	1.9	5	5	0	
		9月	71.4	38.6	42.2	3.5	20	20	0	
	川上C	7月	73.4	45.9	49.5	3.8	13	13	0	49.2
		8月	59.9	46.3	48.6	1.4	5	5	0	
		9月	73.6	45.5	48.9	2.9	21	21	0	
	小浜A	7月	56.3	37.5	40.8	3.0	24	24	0	40.9
		8月	51.5	38.0	40.3	1.6	5	5	0	
		9月	62.8	37.6	40.3	2.9	19	19	0	
阿納尻A	7月	51.0	28.6	31.7	3.4	21	21	0	31.6	
	8月	43.7	28.7	30.8	1.5	7	7	0		
	9月	55.3	28.4	31.2	3.2	16	16	0		
口名田A	7月	57.8	30.6	35.1	4.3	21	21	0	35.8	
	8月	59.4	31.7	36.1	2.9	5	5	0		
	9月	64.8	31.1	36.0	3.9	16	16	0		
遠敷A	7月	52.3	33.6	36.8	3.1	26	26	0	(44.7)	
	8月	55.5	33.9	36.4	1.9	6	6	0		
	9月	59.6	33.9	36.6	2.9	21	21	0		
加斗C	7月	65.7	42.2	45.5	3.4	25	25	0	45.8	
	8月	61.5	43.1	45.4	1.5	8	8	0		
	9月	73.7	43.1	46.0	3.5	18	18	0		
小浜C	7月	62.6	41.1	44.6	3.9	26	26	0	45.8	
	8月	62.6	40.5	44.5	2.0	7	7	0		
	9月	75.5	41.4	44.9	3.7	16	16	0		
西津C	7月	56.2	32.4	36.0	3.8	23	23	0	35.9	
	8月	50.1	32.7	35.1	1.9	7	7	0		
	9月	62.1	32.7	35.4	3.5	17	17	0		
堅海C	7月	69.8	35.1	38.9	4.2	17	17	0	39.5	
	8月	54.1	36.3	39.1	1.7	6	6	0		
	9月	66.4	35.2	38.6	3.8	15	15	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

( ) は、2019年度第4四半期に観測局の建替えを行ったため、建替前の過去平均線量率を示す。

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
高浜	音海A	7月	53.0	27.4	30.4	3.8	18	18	0	30.2
		8月	50.9	27.8	29.3	1.3	8	8	0	
		9月	51.2	27.6	30.0	3.2	21	21	0	
	小黒飯A	7月	57.0	27.5	30.3	3.6	22	22	0	30.3
		8月	45.2	27.9	29.3	1.2	8	8	0	
		9月	56.0	27.7	29.9	2.9	21	21	0	
	神野浦A	7月	55.9	29.0	31.8	3.6	18	18	0	32.0
		8月	48.9	29.5	30.9	1.2	9	9	0	
		9月	55.7	29.4	31.7	2.9	22	22	0	
	山中A	7月	58.6	26.2	29.5	4.3	19	19	0	29.3
		8月	50.5	26.2	27.9	1.4	7	7	0	
		9月	52.1	26.3	28.6	3.1	24	24	0	
	三松A	7月	66.6	28.8	32.0	4.3	20	20	0	31.5
		8月	46.2	28.7	30.6	1.3	6	6	0	
		9月	60.4	28.7	31.3	3.5	22	22	0	
	音海C	7月	66.1	42.3	45.3	3.3	17	17	0	45.5
		8月	64.5	42.7	44.5	1.3	9	9	0	
		9月	65.4	43.0	45.3	2.8	23	23	0	
	田ノ浦C	7月	68.7	37.2	40.4	4.0	20	20	0	39.7
		8月	59.3	37.5	39.7	1.4	8	8	0	
		9月	72.9	38.1	40.9	3.4	21	21	0	
小黒飯C	7月	65.1	33.8	36.8	3.7	23	23	0	36.9	
	8月	51.0	34.0	35.8	1.2	9	9	0		
	9月	66.8	34.4	36.6	3.2	19	19	0		
神野浦C	7月	60.6	25.9	29.3	4.6	19	19	0	29.2	
	8月	50.5	26.2	28.0	1.5	9	9	0		
	9月	57.1	26.4	29.2	3.6	22	22	0		
日引C	7月	58.6	32.6	35.5	3.4	19	19	0	35.5	
	8月	55.2	33.0	34.5	1.3	9	9	0		
	9月	56.5	33.3	35.3	2.8	22	22	0		
青郷C	7月	62.4	36.1	38.7	2.9	19	19	0	39.1	
	8月	50.5	36.7	38.7	1.2	4	4	0		
	9月	61.4	36.4	39.0	2.5	19	19	0		
高浜C	7月	70.0	33.7	37.3	3.8	20	20	0	36.5	
	8月	50.0	34.3	36.1	1.2	7	7	0		
	9月	60.4	33.8	36.5	3.0	19	19	0		
和田C	7月	68.2	36.3	39.1	3.4	21	21	0	38.1	
	8月	53.6	36.1	38.2	1.4	6	6	0		
	9月	66.3	36.2	38.5	3.0	15	15	0		
田井C	7月	64.9	37.5	40.7	4.3	21	21	0	44.2	
	8月	67.8	37.7	39.5	1.6	7	7	0		
	9月	66.3	37.6	40.3	3.6	22	22	0		
夕潮台C	7月	46.0	27.0	29.7	2.3	15	15	0	30.0	
	8月	39.2	27.4	29.3	1.2	4	2	2		
	9月	43.7	27.3	29.7	1.9	22	22	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
広域	疋田A	7月	117.0	78.9	84.2	4.6	11	9	2	(76.6)
		8月	98.0	80.5	85.9	3.3	2	1	1	
		9月	108.3	79.8	84.8	3.7	12	12	0	
	白山A	7月	101.9	54.5	59.0	5.5	14	14	0	58.9
		8月	70.0	55.2	58.7	1.8	4	4	0	
		9月	90.7	55.5	59.5	3.1	14	14	0	
	白崎A	7月	93.4	44.3	52.1	5.9	18	18	0	52.1
		8月	62.8	45.4	51.6	2.5	4	4	0	
		9月	77.9	45.0	52.5	3.7	11	11	0	
	瓜生A	7月	76.3	45.8	51.7	4.5	17	17	0	51.1
		8月	66.2	46.1	51.1	2.6	4	4	0	
		9月	76.6	46.2	51.6	3.4	12	12	0	
	今立A	7月	75.8	47.7	51.5	3.9	21	21	0	50.7
		8月	61.2	48.3	51.1	1.5	5	5	0	
		9月	77.9	48.1	51.6	2.9	15	15	0	
	宇津尾A	7月	75.8	44.9	51.7	4.9	18	18	0	51.4
		8月	63.5	46.1	51.9	2.3	1	1	0	
		9月	76.8	47.8	51.9	3.4	17	17	0	
	湯尾A	7月	70.0	43.8	48.6	4.0	18	18	0	46.9
		8月	54.0	44.3	47.6	2.2	0	0	0	
9月		67.7	42.7	47.4	2.8	15	15	0		
南条A	7月	71.6	43.2	49.3	4.3	20	20	0	(64.9)	
	8月	55.7	43.9	48.2	2.3	2	2	0		
	9月	67.4	44.2	48.3	3.0	14	14	0		
古木A	7月	79.2	54.4	59.8	4.3	18	18	0	59.3	
	8月	67.9	54.4	59.3	2.1	4	4	0		
	9月	79.7	55.6	59.7	3.2	21	21	0		
今庄B	7月	70.0	40.6	45.8	4.5	15	15	0	45.2	
	8月	57.4	41.5	45.1	1.9	2	2	0		
	9月	70.9	41.9	45.6	3.0	18	18	0		
米ノA	7月	83.5	51.4	54.8	4.5	17	17	0	54.4	
	8月	64.1	51.6	53.5	1.0	8	6	2		
	9月	79.6	51.7	54.0	2.6	18	18	0		
織田A	7月	87.2	48.5	52.5	4.9	15	15	0	51.7	
	8月	66.5	48.2	51.3	1.7	7	7	0		
	9月	74.7	48.7	52.0	2.8	17	17	0		
玉川A	7月	69.2	45.0	48.4	3.9	19	19	0	48.5	
	8月	61.5	45.6	48.3	1.4	7	7	0		
	9月	72.1	45.6	49.1	2.8	14	14	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

( ) は、2019年度第4四半期に観測局の建替えを行ったため、建替前の過去平均線量率を示す。

表 3-3-1 空間放射線量率連続測定結果 つづき

(測定地点の添字は担当機関を示す。A：県、B：原電、C：関電、D：原子力機構) 線量率単位：nGy/h

地区	測定地点	測定月	最高値	最低値	月間 平均 線量率 (M)	月間 標準 偏差 ( $\sigma$ )	M+3 $\sigma$ をこえた 時間	M+3 $\sigma$ をこえた 原因とその時間		過去 平均 線量率
								降雨	その他	
広域	越前厨D	7月	65.1	35.7	39.3	4.5	14	14	0	38.5
		8月	49.8	35.7	38.7	1.5	9	9	0	
		9月	64.7	36.0	39.9	2.7	13	13	0	
	新庄C	7月	72.8	53.9	57.3	2.6	18	18	0	58.4
		8月	67.4	55.2	57.3	1.3	7	4	3	
		9月	75.3	55.0	57.4	2.1	20	20	0	
	三重A	7月	77.2	41.9	47.0	4.1	15	15	0	48.1
		8月	68.9	44.2	49.4	3.5	2	2	0	
		9月	71.5	43.6	49.3	3.6	19	19	0	
	納田終A	7月	66.4	34.2	39.4	4.2	18	18	0	39.4
		8月	53.4	34.9	39.3	2.8	3	3	0	
		9月	62.4	34.8	39.3	3.6	17	17	0	
	名田庄C	7月	74.8	40.9	45.0	4.2	14	14	0	44.8
		8月	64.6	41.1	44.7	2.8	4	4	0	
		9月	68.7	40.8	44.5	3.4	19	19	0	
	神子A	7月	67.4	48.1	50.7	2.8	20	20	0	(65.6)
		8月	56.3	48.3	51.1	1.2	2	2	0	
		9月	70.0	49.2	51.9	2.4	14	14	0	
三方C	7月	53.8	27.5	31.1	3.6	21	21	0	30.3	
	8月	44.1	27.9	29.8	1.5	4	4	0		
	9月	54.3	27.5	30.2	2.8	21	21	0		
鳥羽A	7月	68.9	48.1	51.8	3.6	19	19	0	(47.0)	
	8月	69.4	49.2	53.2	2.3	3	3	0		
	9月	82.1	49.4	54.3	3.0	14	14	0		
熊川A	7月	68.0	38.3	42.2	4.1	21	21	0	43.1	
	8月	57.9	39.0	42.0	1.7	4	4	0		
	9月	65.3	38.8	42.0	3.3	22	22	0		
上中C	7月	59.3	33.9	37.6	3.9	24	24	0	37.2	
	8月	50.9	34.4	36.3	1.4	6	6	0		
	9月	59.9	34.2	37.0	3.8	20	20	0		

過去平均線量率：2017～2019年度

( ) は、2019年度第4四半期に観測局の建替えを行ったため、建替前の過去平均線量率を示す。

### <表 3-3-1 に関する注釈>

1 2017年度（平成29年度）以降に生じた設置地点の状況変化等を以下に示す。

(1) 県 (A)

① 南条Aは、2017年8月に検出器の交換を行いバックグラウンド値が変化した。

表 1 検出器交換に伴う線量率の変化 単位：nGy/h

局名	交換日	交換前	交換後
南条A	2017.8.8	60.8	64.4

② 大良Aは、2017年4月～2018年1月にかけて設置された、工事用の仮設建屋により周辺環境が変化し、地表面からの放射線が遮へいされて線量率が低下した。

③ 遠敷A、疋田A、南条A、神子Aおよび鳥羽Aは、2020年3月に同一敷地内において金属筐体状の簡易型観測局からアルミ製固定観測局に移転・建替えを行ったため、測定条件が変化した。参考のため、移転・建替え前後の統計値を示す。

表 2 観測局移転・建替えに伴う線量率の変化 単位：nGy/h

観測局		最高値	最低値	平均値 (M)	標準偏差	M+3σ を超えた原因とその時間	
						降雨	その他
遠敷A	建替前	58.7	42.2	44.9	2.6	12	0
	建替後	53.4	33.8	36.0	2.7	14	0
	3月全期間	58.7	33.8	40.0	5.2	6	0
疋田A	建替前	103.1	68.7	75.9	4.8	11	0
	建替後	108.5	79.0	83.3	3.6	11	0
	3月全期間	108.5	68.7	80.0	5.6	5	0
南条A	建替前	88.1	62.4	67.2	3.0	7	0
	建替後	74.2	43.5	48.7	4.3	10	0
	3月全期間	88.1	43.5	57.1	10.0	1	0
神子A	建替前	84.9	62.5	66.3	3.1	9	0
	建替後	64.6	48.4	50.3	2.2	10	0
	3月全期間	84.9	48.4	57.5	8.4	1	0
鳥羽A	建替前	68.1	45.1	48.7	2.9	9	0
	建替後	76.9	46.7	50.7	3.2	12	0
	3月全期間	76.9	45.1	49.8	3.2	17	0

※ 建替前は3/1 1時～3/14 24時、建替後は3/15 1時～3/31 24時の集計データを示す。

(2) 関電 (C)

① 青郷C、高浜C、和田C、田井C、夕潮台Cは、2018年5月～6月にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表3のようにバックグラウン

ド値が変化した。

表 3 測定装置更新に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後
青郷C	2018. 5.28 ~ 2018. 6. 1	38.2	37.1
高浜C	2018. 5.14 ~ 2018. 5.18	35.3	35.2
和田C	2018. 5.21 ~ 2018. 5.25	37.6	37.5
田井C	2018. 6.18 ~ 2018. 6.21	43.4	42.9
夕潮台C	2018. 6.11 ~ 2018. 6.15	29.6	29.1

※更新前後の値は、更新前または後1ヶ月間の降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ② 日引Cは、2018年9月に測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表4のようにバックグラウンド値が変化した。

表 4 測定装置更新に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後
日引C	2018. 9.10 ~ 2018. 9.13	34.8	34.0

※更新前後の値は、更新前または後1ヶ月間の降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ③ 音海C、田ノ浦C、小黑飯C、神野浦Cは、2018年10月～11月にかけて測定装置の更新を行った。その結果、装置特性等の違いにより、表5のようにバックグラウンド値が変化した。

表 5 測定装置更新に伴う空間線量率の変化 単位：nGy/h

局名	更新期間	更新前	更新後
音海C	2018.11. 5 ~ 2018.11. 9	44.5	44.5
田ノ浦C	2018.10.15 ~ 2018.10.19	38.5	39.5
小黑飯C	2018.10.29 ~ 2018.11. 2	35.9	35.3
神野浦C	2018.11.12 ~ 2018.11.16	27.9	27.9

※更新前後の値は、更新前または後1ヶ月間の降水影響時を除いた1時間平均値を示した。

- ④ 田井Cは、2019年9月下旬から2020年3月にかけて原子力災害対策施設整備工事が行われ周辺環境が変化した。

- ⑤ 堅海C、本郷C、上中Cは、観測局の更新に伴い、現行位置に新たに観測局を設置するため、既設観測局を現行位置の近傍に移設した。この移設作業による欠測期間中、可搬型モニタリングポストによる代替測定を行ったが、原子力発電所に起因する放射線量率の上昇は観測されなかった。

なお、移設作業による欠測期間は表6のとおりである。

表 6 観測局の移設に伴う欠測期間

局名	欠測期間
堅海C	2020. 8.31 11時 ~ 2020. 9. 3 15時
本郷C	2020. 9. 7 11時 ~ 2020. 9.10 14時
上中C	2020. 9.28 11時 ~ 2020.10. 1 14時

(3) 機構 (D)

- ① 松ヶ崎Dは、2014年6月～2018年3月にかけて実施された、原子力災害制圧道路工事に伴う土砂搬出作業により、周辺環境が変化した。



## 2 観測局の気象観測について

観測局に気象観測装置（雨量計、感雨計）が実装されている局、またはその近傍に併設されている局は表7のとおりである。

表 7 気象観測装置を設置または併設した観測局一覧

地区	観 測 局 名 称							
敦賀	立石A	浦底A	敦賀A	東郷A	栗野A	縄間D	赤崎D	杉津B
	大良A	河野A	板取A	甲楽城B				
白木	白木A	白木峠A	松ヶ崎D					
美浜	丹生A	竹波A	坂尻A	久々子A	竹波C*1	郷市C		
大飯	宮留A	日角浜A	長井A	佐分利A	日角浜C	本郷C	小浜A	阿納尻A
	口名田A	小浜C						
高浜	音海A	小黒飯A	神野浦A	山中A	三松A	神野浦C	高浜C*1	夕潮台C*1
広域	疋田A	白山A	白崎A	瓜生A	今立A	宇津尾A	湯尾A	南条A
	古木A	今庄B	米ノA	織田A	玉川A	越前厨D	新庄C*1	三重A
	納田終A	名田庄C*1	神子A	三方C*1	鳥羽A	熊川A	上中C	

\* 1 :線量率連続測定地点から幾分離れて気象観測装置が設置されているもの。

気象観測装置が設置されていない局については、表8のように近くの地点で気象観測装置（雨量計と感雨計）が設置されている局等で代用している。

表 8 気象観測装置代用局一覧

測定地点	代 用 局	測定地点	代 用 局
ふげん北D 立 石B 立石山頂B ふげん西D 猪ヶ池B 浦 底B 水 試 裏B 色ヶ浜B	敦賀発電所気象露場	佐 田C 早 瀬C 日 向C	郷市C
		宮 留C	日角浜C
		川 上C 鹿 野C	本郷C
		遠 敷A	アメダス小浜観測所 [気象庁] (福井県若狭合同庁舎)
五 幡B	杉津B	加 斗C 西 津C 堅 海C	小浜C
阿 曾D	赤崎D		
白 木ID 白 木IID 白 木IIID 白 木IVD	もんじゅ気象露場	田ノ浦C 音 海C 小黒飯C 日 引C 田 井C	神野浦C
奥 浦C 丹 生C 丹 生 寮C 竹 波C 菅 浜C	落合川ポンプ場	青 郷C 高 浜C 和 田C	高浜 (旧高浜町役場東)
		夕 潮 台C	舞鶴 (関電舞鶴営業所)

表 3-3-2 積算線量測定結果

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

地区	測定地点	今 期	過去の平均値	平常の変動幅
敦賀	立石 A 6	0.235	0.230	0.206 ~ 0.255
	立石山頂 B 1	0.225	0.222	0.198 ~ 0.245
	ふげん西 D 2	0.166	0.156	0.140 ~ 0.173
	猪ヶ池 B 1	0.235	0.228	0.204 ~ 0.252
	原子力館 B	0.194	0.194	0.173 ~ 0.214
	水産試験場 B 2	0.177	0.176	0.158 ~ 0.195
	水試裏 B 1	0.245	0.243	0.218 ~ 0.269
	明神寮 B 2	0.233	0.226	0.203 ~ 0.250
	浦底 A 6	0.248	0.244	0.216 ~ 0.273
	色ヶ浜 A 4	0.260	0.265	0.234 ~ 0.297
	手ノ浦 A 4	0.225	0.223	0.199 ~ 0.246
	手ノ浦 B 3	0.222	0.223	0.199 ~ 0.246
	沓 B 6	0.215	0.213 *1	0.188 ~ 0.238
	常宮 A 4	0.208	0.213	0.180 ~ 0.246
	常宮 B 4	0.214	0.212	0.190 ~ 0.234
	縄間 B	0.274	0.269	0.241 ~ 0.297
	名子 B 2	0.167	0.165 *2	0.148 ~ 0.182
	松島 B 3	0.209	0.206	0.185 ~ 0.228
	松栄 B 3	0.205	0.203	0.179 ~ 0.226
	赤崎 A 4	0.179	0.179	0.160 ~ 0.198
	阿曾 A 3	0.177	0.184	0.161 ~ 0.206
	杉津 A 5	0.169	0.169	0.148 ~ 0.190
	元比田 A 6	0.162	0.165	0.145 ~ 0.184
	吉河 A 3	0.167	0.171	0.150 ~ 0.192
	沓見 C	0.169	0.179	0.159 ~ 0.199
	大谷 A 4	0.166	0.175	0.156 ~ 0.193
	大良 B	0.175	0.170	0.147 ~ 0.194
	白木	白木 I D 2	0.237	0.228
白木 II D 2		0.161	0.154	0.138 ~ 0.170
白木 III D 2		0.221	0.214	0.192 ~ 0.237
白木 IV D 2		0.203	0.194	0.174 ~ 0.215
松ヶ崎 D 2		0.239	0.226	0.202 ~ 0.249
白木 A 6		0.237	0.244 *3	0.218 ~ 0.270
白木 D 6		0.247	0.232	0.207 ~ 0.256
白城神社 A 3		0.232	0.234	0.206 ~ 0.263
白城神社 D 4		0.225	0.215	0.192 ~ 0.237
門ヶ崎 D 3		0.262	0.248	0.222 ~ 0.274
白木トンネル北口 A 3		0.279	0.265	0.228 ~ 0.302
白木トンネル北口 D 3		0.237	0.222	0.198 ~ 0.246
白木トンネル南口 A 3		0.228	0.221	0.195 ~ 0.246
もんじゅ寮 D 1	0.242	0.228	0.204 ~ 0.252	

過去の平均値：2015～2019年度

\*1：設置環境が変化したため、過去実績は2015年度第2四半期～2019年度のみ。

\*2：2015年度に線量計を更新したため、過去実績は2015年度第2四半期～2019年度のみ。

\*3：測定地点変更のため、過去実績は2015年度第4四半期～2019年度のみ。

表 3-3-2 積算線量測定結果 つづき

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A: 県、B: 原電、C: 関電、D: 原子力機構)

単位 : mGy/92日

地区	測定地点	今 期	過去の平均値	平常の変動幅
美浜	奥浦C	0.214	0.216	0.193 ~ 0.239
	丹生A 5	0.197	0.188	0.167 ~ 0.209
	丹生C 3	0.177	0.181	0.162 ~ 0.200
	丹生診療所C 6	0.160	0.166	0.148 ~ 0.183
	丹生教育体験館A 1	0.216	0.212	0.190 ~ 0.235
	丹生寮C 5	0.206	0.209	0.187 ~ 0.231
	竹波A 6	0.220	0.228	0.204 ~ 0.252
	竹波C 5	0.210	0.215	0.192 ~ 0.238
	馬背川C 2	0.206	0.212	0.189 ~ 0.234
	菅浜A 4	0.211	0.208	0.186 ~ 0.230
	菅浜C 2	0.160	0.163	0.146 ~ 0.180
	けやき台C 1	0.144	0.147	0.132 ~ 0.163
	佐田A 4	0.162	0.171	0.153 ~ 0.189
	坂尻C 2	0.167	0.168	0.150 ~ 0.185
	和田A 1	0.169	0.172	0.154 ~ 0.191
	郷市C 6	0.126	0.131	0.117 ~ 0.144
	久々子C 1	0.140	0.142	0.127 ~ 0.157
	早瀬C 5	0.131	0.134	0.120 ~ 0.148
	日向C 5	0.157	0.162	0.145 ~ 0.179
	大飯	赤礁崎C	0.104	0.106
宮留奥A 1		0.118	0.115	0.103 ~ 0.127
宮留A 8		0.106	0.114	0.101 ~ 0.128
宮留C 3		0.114	0.115	0.103 ~ 0.127
日角浜C 3		0.110	0.114	0.102 ~ 0.126
西村A 3		0.127	0.124	0.109 ~ 0.139
西村C 1		0.087	0.090	0.081 ~ 0.100
犬見C 2		0.121	0.122	0.109 ~ 0.135
本郷A 6		0.125	0.127 *1	0.113 ~ 0.140
本郷C 5		0.118	0.122	0.109 ~ 0.135
鹿野C 5		0.123	0.124	0.111 ~ 0.137
川上C 4		0.125	0.127	0.114 ~ 0.140
鯉川A 3		0.145	0.137	0.120 ~ 0.153
加斗A 6		0.157	0.152 *2	0.136 ~ 0.168
西勢A 3		0.129	0.136	0.120 ~ 0.153
東勢C 1		0.120	0.124	0.111 ~ 0.138
小浜市野球場C 2		0.116	0.126	0.112 ~ 0.139
小浜市大原A 4		0.164	0.170	0.152 ~ 0.188
若狭健康福祉センターA 3		0.165	0.165	0.145 ~ 0.184
西津A 3		0.148	0.144	0.126 ~ 0.162
西津C 3		0.115	0.117	0.104 ~ 0.129
堅海A 3		0.145	0.142	0.127 ~ 0.157
堅海C 3		0.116	0.126	0.113 ~ 0.140
泊C 2	0.128	0.132	0.118 ~ 0.146	

過去の平均値 : 2015~2019年度

\*1 : 測定地点変更のため、過去実績は2016~2019年度のみ。

\*2 : 測定地点変更のため、過去実績は2019年度のみ。

表 3-3-2 積算線量測定結果 つづき

(測定地点のA, B, C, Dは担当機関を示す。A:県、B:原電、C:関電、D:原子力機構)

単位：mGy/92日

地区	測定地点	今 期	過去の平均値	平常の変動幅
高浜	音海A5	0.124	/ *1	/ *1
	音海C4	0.119	0.121	0.108 ~ 0.134
	音海県道C2	0.092	0.098 *2	0.088 ~ 0.109 *2
	田ノ浦C	0.115	0.116	0.104 ~ 0.128
	小黑飯A4	0.134	0.142	0.127 ~ 0.158
	小黑飯C3	0.121	0.121	0.108 ~ 0.134
	旧神野小学校A1	0.123	0.133	0.119 ~ 0.147
	神野A5	0.117	0.114	0.101 ~ 0.126
	神野浦C2	0.094	0.098	0.087 ~ 0.109
	山中A4	0.130	0.134	0.119 ~ 0.149
	山中C2	0.092 *3	0.092	0.082 ~ 0.103
	下A3	0.113	0.109	0.098 ~ 0.121
	日引C3	0.107	0.112	0.097 ~ 0.128
	上瀬A3	0.093	0.095	0.085 ~ 0.105
	六路谷A4	0.106	0.109	0.094 ~ 0.123
	六路谷C2	0.126	0.129	0.114 ~ 0.143
	高野C	0.124	0.125	0.112 ~ 0.138
	青郷C2	0.119	0.123	0.110 ~ 0.136
	東三松A5	0.159	0.147	0.129 ~ 0.165
	東三松C2	0.119	0.120	0.106 ~ 0.134
	高浜町役場A4	0.107	0.109	0.095 ~ 0.123
	高浜C	0.108	0.112	0.099 ~ 0.125
	和田C3	0.113	0.116	0.103 ~ 0.130
田井C3	0.134	0.137	0.123 ~ 0.152	
夕潮台C2	0.098	0.100	0.090 ~ 0.111	

過去の平均値：2015～2019年度

\*1：測定地点変更のため、過去実績なし。

\*2：測定地点変更のため、過去実績は2019年度のみ。

\*3：測定地点周辺の道路拡張工事に伴い、第2四半期途中で測定地点を約9m移動したため参考値とする。

<表 3-3-2に関する注釈>

積算線量は過去5ヶ年の平均値と比較して評価するため、2015年度以降に生じた設置地点の状況変化を以下に示す。

(1) 2015年度の状況変化

- ① 沓B5は、2015年5月に測定地点周辺の整地に伴い約5m移動し周辺環境が変化した、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2016年度第1期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められたため、2015年度第2四半期から地点番号をひとつ進め、沓B6とした。
- ② 日本原電は2015年度第2期から新しい電子線量計を採用したが、測定結果は過去の平常の範囲内であることから1年間データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2016年度第2期終了後、更新前後でデータの有意差検定を行ったところ、名子B1でデータの有意差が認められたため、2015年度第2四半期から地点番号をひとつ進め、名子B2とした。  
なお、その他の地点ではデータの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱う。
- ③ 白木A5は、2016年1月に観測局とともに約30m移転し周辺環境が変化したため、2015年度第4期から地点番号をひとつ進め、白木A6とした。
- ④ 本郷A5は、2016年2月に測定地点周辺の駐車場整備のため約35m移転し周辺環境が変化したため、2016年度第1期から地点番号をひとつ進め、本郷A6とした。

(2) 2016年度の状況変化

- ① 田井C3は、2017年2月下旬から3月上旬間に田井コミュニティセンターが解体され周辺環境が変化した、過去の平常の範囲内であることから、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2017年度第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱う。

(3) 2017年度の状況変化

- ① 松ヶ崎D2は、2014年6月～2018年3月の間に原子力災害制圧道路工事に伴う松ヶ崎周辺への土砂搬出作業により周辺環境が変化した、暫定的に従来と同一地点として取り扱ってきた。2018年度第4期終了後、周辺環境変化の前後でデータの有意差検定を行ったところ、データの有意差が認められなかったため、従来と同一地点として取り扱う。

(4) 2018年度の状況変化

なし

(5) 2019年度の状況変化

- ① 音海県道C1は2019年4月に測定地点周辺工事のため約10m移転し周辺環境が変化したため、2019年度第1期から地点番号をひとつ進め、音海県道C2とする。
- ② 田井C3は、2019年9月下旬から2020年3月にかけて原子力災害対策施設整備工事が行われ周辺環境が変化した、過去の平常の範囲内であることから1年間データの蓄積を待って有意差検定を行うものとし、暫定的に従来と同一地点として取り扱う。
- ③ 加斗A5は、2019年12月に測定地点周辺の整地に伴い約30m移転し周辺環境が変化したため、2019年度第4四半期から地点番号をひとつ進め加斗A6とする。
- ④ 音海A4は、2020年1月に測定地点周辺の整地に伴い約6m移転し周辺環境が変化したため、2020年度第1期から地点番号をひとつ進め音海A5とする。

表 3-3-3 浮遊じん放射能の連続測定結果

機関：A(県)

放射能濃度単位：Bq/m<sup>3</sup>、放射能濃度比単位：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比					
			最高 濃度	最低 濃度	月間 平均 濃度	月間 標準 偏差	最高 濃度	最低 濃度	月間 平均 濃度	月間 標準 偏差	最高	最低	月間 平均 濃度 比 M	月間 標準 偏差 σ	M+3σを超え た数と原因	
															自然 変動	その他
敦賀	立石A	7月	9.8	0.5	2.4	1.9	10.9	0.5	2.8	2.2	100	77	88	5	0	0
		8月	15.1	0.6	4.0	2.7	17.6	0.7	4.6	3.1	107	77	88	5	2	0
		9月	12.0	0.2	2.8	2.2	14.3	0.3	3.4	2.7	100	70	82	5	1	0
		過去 実績	19.3	0.1	3.0	2.1	22.9	0.1	3.7	2.6	109	67	83	6	9	0
	浦底A	7月	43.9	0.4	3.4	4.6	51.2	0.4	3.9	5.3	101	75	87	4	1	0
		8月	17.3	0.6	4.8	3.7	19.7	0.6	5.6	4.3	106	73	86	5	1	0
		9月	13.2	0.2	3.0	2.7	15.3	0.2	3.5	3.1	104	75	87	5	1	0
		過去 実績	38.1	0.1	3.5	3.3	49.4	0.1	4.3	4.1	103	67	82	5	7	0
白木	白木A	7月	54.2	0.4	3.8	5.4	65.1	0.4	4.4	6.3	101	76	86	5	0	0
		8月	23.0	0.7	5.4	4.3	25.0	0.7	6.4	5.0	102	74	85	5	1	0
		9月	15.0	0.3	3.1	2.7	17.4	0.3	3.5	3.1	103	74	87	5	1	0
		過去 実績	43.6	0.1	3.5	3.2	52.6	0.1	4.2	4.0	106	67	83	5	8	0
	白木峠A	7月	9.6	0.3	2.1	1.6	11.0	0.4	2.5	1.9	99	74	85	5	0	0
		8月	12.2	0.6	3.1	1.9	16.2	0.7	3.8	2.4	97	72	83	5	0	0
		9月	9.5	0.3	2.2	1.6	11.6	0.3	2.7	2.0	98	69	82	5	1	0
		過去 実績	15.1	0.1	2.5	1.5	20.9	0.1	3.2	2.0	105	64	80	5	13	0
美浜	丹生A	7月	11.6	0.5	2.6	2.3	14.4	0.5	3.0	2.6	103	79	88	4	2	0
		8月	17.5	0.7	4.3	3.3	20.2	0.7	5.1	3.8	104	74	85	5	1	0
		9月	11.7	0.3	2.7	2.2	13.8	0.3	3.2	2.6	100	77	87	5	0	0
		過去 実績	18.9	0.1	3.1	2.4	24.8	0.1	3.8	3.0	115	66	82	5	10	0
	竹波A	7月	16.4	0.5	3.1	2.9	18.5	0.5	3.5	3.3	106	74	87	5	1	0
		8月	17.9	0.6	4.9	3.6	21.3	0.7	5.8	4.2	103	75	86	5	1	0
		9月	12.2	0.3	3.0	2.6	15.3	0.3	3.5	3.0	105	73	87	5	1	0
		過去 実績	26.0	0.1	3.5	2.8	33.6	0.1	4.3	3.4	107	65	82	5	6	0

過去実績：2017～2019年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データは、いずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかに超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線放出核種の分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

表 3-3-3 浮遊じん放射能の連続測定結果 つづき

機関：A(県)

放射能濃度単位：Bq/m<sup>3</sup>、放射能濃度比単位：%

地 区	測定地点	測定月	ベータ放射能濃度				アルファ放射能濃度				(ベータ/アルファ) 放射能濃度比					
			最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高濃度	最低濃度	月間平均濃度	月間標準偏差	最高	最低	月間平均濃度比 M	月間標準偏差 σ	M+3σを超えた数と原因	
															自然変動	その他
大飯	宮留A	7月	14.8	0.3	2.4	2.6	17.8	0.3	2.9	3.1	99	74	85	4	1	0
		8月	15.9	0.3	4.3	3.8	20.6	0.3	5.3	4.6	106	72	83	5	2	0
		9月	11.4	0.2	2.6	2.3	15.2	0.2	3.2	2.9	101	66	79	5	1	0
		過去実績	19.7	0.1	3.3	2.7	28.5	0.1	4.1	3.4	104	65	81	5	8	0
	日角浜A	7月	14.8	0.3	2.4	2.6	17.5	0.3	2.8	3.1	97	77	86	4	0	0
		8月	15.9	0.3	4.3	3.5	20.5	0.4	5.1	4.3	103	72	84	5	2	0
		9月	11.1	0.2	2.6	2.3	13.1	0.2	3.1	2.7	94	69	82	4	0	0
		過去実績	17.9	0.1	3.2	2.5	24.8	0.1	3.9	3.2	103	66	82	5	10	0
高浜	音海A	7月	7.7	0.3	1.9	1.3	9.6	0.4	2.2	1.6	96	71	83	4	1	0
		8月	9.5	0.2	2.8	1.8	11.3	0.2	3.4	2.1	94	72	82	4	0	0
		9月	5.5	0.2	1.9	1.3	7.1	0.3	2.5	1.6	88	61	76	4	0	0
		過去実績	11.2	0.1	2.6	1.6	14.3	0.1	3.3	2.0	99	64	80	5	8	0
	小黒飯A	7月	7.3	0.3	1.9	1.3	8.8	0.4	2.1	1.5	99	75	87	4	0	0
		8月	8.6	0.2	2.7	1.6	10.3	0.2	3.2	2.0	108	71	84	6	3	0
		9月	4.7	0.2	1.8	1.2	5.5	0.3	2.1	1.3	102	75	86	4	1	0
		過去実績	10.4	0.1	2.4	1.4	13.9	0.1	3.0	1.7	105	68	82	5	9	0
	神野浦A	7月	7.2	0.3	1.9	1.3	8.9	0.4	2.2	1.5	101	76	87	4	2	0
		8月	8.0	0.2	2.7	1.6	9.9	0.2	3.2	1.9	100	74	84	5	1	0
		9月	5.7	0.2	1.9	1.2	6.2	0.3	2.2	1.4	102	75	86	4	2	0
		過去実績	12.1	0.1	2.5	1.5	15.0	0.1	3.0	1.8	101	67	82	5	8	0

過去実績：2017～2019年度

(注1) 測定地点は、いずれも県テレメータ観測局である。データは、いずれも3時間毎の素データを計算の基礎において算出したものである。

(注2) 「M+3σを超えた数」の過去の実績は、月毎に算出した数の年間和の平均である。

(注3) 「平均値+標準偏差の3倍」の平常の変動幅を超えたものについて原因の調査を行っている。

これらは、平常の変動幅をわずかに超えたもの、もしくは空气中放射能濃度が低いときに観測されたものであった。なお、ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線放出核種の分析でも人工放射性核種は検出されていないことから、これらの上昇は天然放射能の変動によるものと見なされる。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果

その1 大気中ヨウ素-131

単位：mBq/m<sup>3</sup>

地区	採取地点	採取期間	<sup>131</sup> 粒子状 I 濃度	<sup>131</sup> ガス状 I 濃度	過去実績		機 関
					<sup>131</sup> 粒子状 I	<sup>131</sup> ガス状 I	
敦賀	浦底A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	A
		20.08.05~20.09.02	—	—			
		20.09.02~20.10.02	—	—			
白木	白木A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	A
		20.08.05~20.09.02	—	—			
		20.09.02~20.10.02	—	—			
美浜	竹波A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	A
		20.08.05~20.09.02	—	—			
		20.09.02~20.10.02	—	—			
大飯	宮留A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	A
		20.08.04~20.09.01	—	—			
		20.09.01~20.10.01	—	—			
	日角浜A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	A
		20.08.04~20.09.01	—	—			
		20.09.01~20.10.01	—	—			
高浜	小黒飯A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	A
		20.08.04~20.09.01	—	—			
		20.09.01~20.10.01	—	—			
	神野浦A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	A
		20.08.04~20.09.01	—	—			
		20.09.01~20.10.01	—	—			

過去実績：2015～2019年度

(注) 以下、本表では、「ND」または「—」は検出限界値未満、「0.0」は0.05未満で検出限界値以上の測定値であることを示す。



表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その2 浮遊じん

単位： mBq/m<sup>3</sup>

地区	採取地点	採取期間	主な対象核種							天然核種	過去実績	機関
			<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>137</sup> Cs	
敦賀	立石B	20.07.03~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	2.5	—	B
	〃	20.08.05~20.09.03	—	—	—	—	—	—	—	3.1	—	
	〃	20.09.03~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	5.1		
	浦底A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1.2	—	A
	〃	20.08.05~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	1.6		
	〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	2.7		
	浦底B	20.07.03~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1.7	—	B
	〃	20.08.05~20.09.03	—	—	—	—	—	—	—	2.0		
	〃	20.09.03~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.8		
色ヶ浜B	20.07.03~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1.9	—	B	
〃	20.08.05~20.09.03	—	—	—	—	—	—	—	1.9			
〃	20.09.03~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.6			
白木	白木A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1.6	—	A
	〃	20.08.05~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	1.8		
	〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	2.8		
	松ヶ崎D	20.07.01~20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	1.1	—	D
	〃	20.08.03~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.4		
〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.2			
美浜	竹波A	20.07.02~20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	1.3	—	A
	〃	20.08.05~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	1.8		
	〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	2.8		
	丹生	20.07.01~20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	1.6	—	C
	〃	20.08.03~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.8		
〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.7			
大飯	宮留A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.4	—	A
	〃	20.08.04~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.7		
	〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.6		
	日角浜A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	A
	〃	20.08.04~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.6		
	〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.8		
	宮留	20.07.02~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.7	—	C
	〃	20.08.04~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	2.1		
	〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.2		
高浜	音海	20.07.02~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	C
	〃	20.08.04~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	2.0		
	〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.5		
	小黒飯A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	A
	〃	20.08.04~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.7		
	〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.8		
	神野浦A	20.07.01~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.5	—	A
	〃	20.08.04~20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	1.7		
	〃	20.09.01~20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	2.8		
	小黒飯	20.07.02~20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	1.8	—	C
	〃	20.08.04~20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	2.0		
〃	20.09.02~20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	3.1			

過去実績：2015～2019年度

(注1) I-131はガス状のものを含まない浮遊じんのみの測定結果である。

(注2) 機関Aの測定は、ろ紙を灰化しているためI-131は対象外である。I-131濃度は表3-3-4 その1 粒子状I-131の欄を参照。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果

その3 陸水

単位： mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種						天然核種	過去実績	機関	
				<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>137</sup> Cs		
敦賀	浦底（明神寮）	水道水	20.08.17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	B
白木	白木（民家）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	D
美浜	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	菅浜（菅浜多目的広場）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
大飯	宮留（民家）	〃	20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
高浜	小黑飯（民家）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	神野浦（民家）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	C
	日引（日引漁港）	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—*	C

過去実績：2015～2019年度

\*：測定地点変更のため、過去実績は2019年度のみ。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果

その4 陸土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種					天然核種				過去実績	機関
				<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	Th-Ser	U-Ser		
敦賀	発電所北端周辺	山土	20.08.19	—	—	—	—	22	10	900	130	86	12~25	D
広域	勝山市池ヶ原（奥越高原牧場）	〃	20.07.30	—	—	—	—	10	33	280	40	28	15~19	A

過去実績：2015～2019年度

(注) Th系列 (Th-Ser) はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列 (U-Ser) はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2% (または36.0%) を用いて求めたものである。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果

その5 農畜産物（原乳）

単位： Bq/l（原乳）， Bq/kg生（精米、大根葉）

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	主な対象核種							天然核種		過去実績	機関
					<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K		
美浜	山上	原乳		20.09.02		—	—	—	—	—	—	—	48	—	A

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その6 指標植物（ヨモギ）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種							天然核種		過去実績	機関	
				<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K			<sup>137</sup> Cs
敦賀	浦底	ヨモギ	20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	—	66	250	ND~0.4	A
白木	白木	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	78	270	ND~0.2	A
美浜	竹波	〃	〃	—	—	—	—	—	—	0.2	110	250	ND~0.7	A	
大飯	日角浜	〃	20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	—	42	260	—	A
高浜	小黒飯	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	95	220	ND~0.1	A
広域	福井市原目町	〃	20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	—	41	250	ND~0.1	A

過去実績：2015~2019年度

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その7 指標植物（松葉）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種							天然核種		過去実績	機関	
				<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K			<sup>137</sup> Cs
敦賀	発電所北端周辺	松葉	20.08.19	—	—	—	—	—	—	—	—	22	71	—	D
白木	白木トンネル北口付近	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	49	47	—	D

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その8 降下物

単位： Bq/m<sup>2</sup>

地区	採取地点	採取期間	主な対象核種							天然核種	過去実績	機関
			<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>137</sup> Cs	
敦賀	明神町（敦賀原子力館）	20.07.02～20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	250	—	A
	〃	20.08.05～20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	19		
	〃	20.09.02～20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	180		
	浦底（明神寮）	20.07.01～20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	230	—	B
	〃	20.08.03～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	27		
〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	180			
白木	白木（川崎重工事務所）	20.07.02～20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	230	—	A
	〃	20.08.05～20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	36		
	〃	20.09.02～20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	220		
	松ヶ崎（機構モニタリングステーション）	20.07.01～20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	220	—	D
	〃	20.08.03～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	21		
〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	130			
美浜	竹波（落合川取水場）	20.07.02～20.08.05	—	—	—	—	—	—	—	240	—	A
	〃	20.08.05～20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	17		
	〃	20.09.02～20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	230		
	丹生（関電丹生寮）	20.07.01～20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	210	—	C
	〃	20.08.03～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	25		
〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	200			
大飯	宮留（県テレメ観測局）	20.07.01～20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	160	—	A
	〃	20.08.04～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	15		
	〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	180		
	日角浜（ヴィラ大島）	20.07.02～20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	170	—	C
	〃	20.08.04～20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	22		
〃	20.09.02～20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	230			
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	20.07.01～20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	150	—	A
	〃	20.08.04～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	26		
	〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	450		
	小和田（小和田ポンプ所）	20.07.02～20.08.04	—	—	—	—	—	—	—	160	—	C
	〃	20.08.04～20.09.02	—	—	—	—	—	—	—	19		
〃	20.09.02～20.10.02	—	—	—	—	—	—	—	370			
広域	福井市原目町（福井分析管理室）	20.07.01～20.08.03	—	—	—	—	—	—	—	260	ND ～0.1	A
	〃	20.08.03～20.09.01	—	—	—	—	—	—	—	59		
	〃	20.09.01～20.10.01	—	—	—	—	—	—	—	210		

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その9 海水

単位：mBq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種						過去実績	機関
				<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	
敦賀	立石沖	海水	20.08.06	—	—	—	—	—	1.7	1.7~2.1	B
	敦賀発電所2号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	2.0	1.4~2.4	B
	ふげん放水口	〃	20.09.02	—	—	—	—	—	1.5	ND~2.2	D
白木	もんじゅ放水口	〃	20.08.04	—	—	—	—	—	1.3	ND~2.4	D
	白木漁港	〃	〃	—	—	—	—	—	—	ND~1.6	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	20.08.05	—	—	—	—	—	—	ND~2.9	C
	美浜発電所3号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	2.1	ND~2.7	C
大飯	大飯発電所放水口	〃	20.08.12	—	—	—	—	—	2.3	ND~3.0	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	ND~2.5	C
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	ND~2.8	C

過去実績：2015~2019年度



表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その10 海底土

単位：Bq/kg乾土

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種					天然核種				過去実績	機関
				<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K	Th-Ser	U-Ser		
敦賀	敦賀発電所1号放水口	砂・泥	20.08.06	—	—	—	—	1.4	—	1500	67	36	ND~1.5	B
	立石	砂	20.09.02	—	—	—	—	—	4.3	1000	37	19	—	D
	敦賀発電所2号放水口	〃	20.08.06	—	—	—	—	—	7.7	980	25	18	—	B
	2号放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	6.0	1200	27	17	—	B
	ふげん放水口	〃	20.09.02	—	—	—	—	—	8.0	710	23	17	—	D
白木	もんじゅ放水口	〃	20.08.04	—	—	—	—	—	—	1300	19	12	—	D
	白木漁港	〃	〃	—	—	—	—	—	—	1400	19	12	—	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	20.07.10	—	—	—	—	—	—	890	48	21	ND~0.5	C
	美浜発電所1, 2号放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	—	1100	51	28	—	C
	美浜発電所3号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	660	22	16	—	C
	丹生湾中央	泥	〃	—	—	—	—	5.6	—	660	68	29	4.6~8.8	C
大飯	大飯発電所放水口	砂	20.07.08	—	—	—	—	—	5.5	130	3.8	3.7	ND~0.3	C
	放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	—	3.5	160	6.5	5.4	—	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	20.07.09	—	—	—	—	0.7	3.8	240	11	7.0	0.6~1.6	C
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	〃	—	—	—	—	0.8	—	390	19	12	ND~1.0	C
	高浜発電所放水口沖	〃	〃	—	—	—	—	1.0	—	360	14	9.5	0.8~2.2	C

過去実績：2015~2019年度

(注) Th系列 (Th-Ser) はTl-208から系列ガンマ線放出比30.7%を用いて、U系列 (U-Ser) はBi-214またはPb-214から系列ガンマ線放出比44.2% (または36.0%) を用いて求めたものである。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その11 海産食品（魚類、無脊椎動物、海藻類）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	部位	採取年月日	主な対象核種								天然核種		平均体長 cm	平均体重 g	過去実績 Cs	機関	
					<sup>22</sup> Na	<sup>54</sup> Mn	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	<sup>7</sup> Be	<sup>40</sup> K						
敦賀	立石沖	サザエ	除殻	20.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.9	93	50	ND~0.0	B	
	水島沖	〃	〃	20.07.13	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.6	67	87		A	
	〃	〃	〃	20.07.15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4.3	67	95			
	立石漁港	タコ	肉	20.07.20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52	60		893	
白木	もんじゅ放水口	シイラ	〃	20.07.16	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	120	45	629	0.1~0.2	A
	白木沖	〃	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	130	44	893		D
	白木沿岸	サザエ	除殻	20.07.07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	63	6	69	ND~0.0	D
	もんじゅ放水口	〃	〃	20.07.28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	61	70	A		
	松ヶ崎	タコ	肉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	85	45	660		
	〃	サザエ	除殻	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.3	60	71		
美浜	美浜発電所1, 2号放水口沖	アジ	全身	20.09.15	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	110	8	6	0.0~0.2	A
	美浜発電所放水口付近	サザエ	除殻	20.07.09	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	70	8	84		ND~0.0
	美浜発電所1, 2号放水口沖	タコ	肉	20.07.26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	76	62	713	A	
	〃	サザエ	除殻	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5.4	69	82		
大飯	髷島	サゴシ	肉	20.09.12	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	—	160	38	292	ND~0.3	
	大飯発電所放水口	サザエ	除殻	20.07.05	—	—	—	—	—	—	—	—	0.1	2.7	68	8	95		—
	黒崎	〃	〃	20.07.24	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	3.9	64	81	A		
	長浦	タコ	肉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	75	51	460		
高浜	音海	サザエ	除殻	20.07.01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2.8	58	99	ND~0.1	A	
	内浦湾	〃	〃	20.07.02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.7	62	8		113	C
	音海	〃	〃	20.07.27	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8.7	59	126		A	
	日引	タコ	肉	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0	—	87		52	616

過去実績：2015~2019年度

(注) 実績欄の値は、地区毎の魚、無脊椎動物、海藻別にまとめて求めたものである。付帯データのうち体長は全長、重量は全身または殻込みの重量である。各放水口は放水口付近を含む。

表 3-3-4 ガンマ線放出核種分析結果  
その12 指標海産生物（ホンダワラ）

単位：Bq/kg生

地区	採取地点	種類	採取年月日	主な対象核種							天然核種		過去実績 137 Cs	機関
				22 Na	54 Mn	58 Co	60 Co	131 I	134 Cs	137 Cs	7 Be	40 K		
敦賀	敦賀発電所2号放水口	ホンダワラ	20.08.06	—	—	—	—	—	—	—	17	190	—	B
	ふげん放水口	〃	20.07.08	—	—	—	—	—	—	—	4.9	250	—	D
白木	松ヶ崎	〃	20.07.07	—	—	—	—	—	—	—	14	180	—	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	20.07.10	—	—	—	—	—	—	—	18	360	ND~0.1	C
	美浜発電所3号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	4.1	320	ND~0.1	C
大飯	大飯発電所放水口	〃	20.07.08	—	—	—	—	—	—	—	11	270	—	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	20.07.09	—	—	—	—	—	—	—	7.1	240	ND~0.1	C
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	〃	—	—	—	—	—	—	0.1	13	250	ND~0.1	C
	音海	〃	〃	—	—	—	—	—	—	—	5.7	300	ND~0.1	C

過去実績：2015~2019年度

(注) ホンダワラは除根試料を分析した。

表 3-3-5 トリチウム分析結果  
その1 大気中水分

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	立石 A	20.06.26～20.07.31	0.6	0.5～2.0	D
		20.07.31～20.08.28	0.9		
		20.08.28～20.10.01	1.2		
	猪ヶ池 B	20.06.26～20.07.31	2.4	1.0～3.8	D
		20.07.31～20.08.28	2.2		
		20.08.28～20.10.01	2.2		
	浦底 A	20.07.02～20.08.05	1.0	0.8～3.6	A
		20.08.05～20.09.02	1.0		
		20.09.02～20.10.02	0.7		
	浦底 B	20.07.03～20.08.05	1.0	1.1～2.3	B
		20.08.05～20.09.03	1.0		
		20.09.03～20.10.02	1.1		
色ヶ浜 B	20.07.03～20.08.05	1.2	0.8～1.8	B	
	20.08.05～20.09.03	0.9			
	20.09.03～20.10.02	0.8			
白木	白木 A	20.07.02～20.08.05	0.6	ND～1.5	A
		20.08.05～20.09.02	0.5		
		20.09.02～20.10.02	—		
	白木峠 A	20.06.29～20.08.03	1.1	0.5～2.1	D
		20.08.03～20.08.31	1.1		
		20.08.31～20.09.28	1.0		
美浜	竹波 A	20.07.02～20.08.05	1.9	0.7～2.3	A
		20.08.05～20.09.02	2.3		
		20.09.02～20.10.02	1.3		
	竹波（落合川取水場）	20.07.01～20.08.03	3.0	1.0～3.0	C
		20.08.03～20.09.01	1.3		
		20.09.01～20.10.01	2.5		
大飯	宮留 A	20.07.01～20.08.04	2.0	0.7～2.6	A
		20.08.04～20.09.01	2.4		
		20.09.01～20.10.01	1.7		
	日角浜	20.07.02～20.08.04	2.6	1.0～2.8	C
		20.08.04～20.09.02	2.0		
		20.09.02～20.10.01	2.4		

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-5 トリチウム分析結果  
その1 大気中水分 つづき

単位：Bq/l

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
高浜	小黒飯A	20.07.01～20.08.04	3.4	2.5～12	A
		20.08.04～20.09.01	3.5		
		20.09.01～20.10.01	5.0		
	神野浦	20.07.02～20.08.04	3.9	1.1～6.5	C
		20.08.04～20.09.02	5.1		
		20.09.02～20.10.01	3.7		
広域	福井市原目町（福井分析管理室）	20.07.01～20.08.03	—	ND～1.6	A
		20.08.03～20.09.02	—		
		20.09.02～20.10.01	—		

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-5 トリチウム分析結果

その2 陸水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	浦底（明神寮）	水道水	20.08.17	0.7	ND～1.0	B
白木	白木（民家）	〃	20.08.17	0.7	ND～1.1	D
美浜	丹生（漁協飼料保管解凍施設横）	〃	20.08.03	0.8	0.5～1.2	C
	菅浜（菅浜多目的広場）	〃	20.08.03	0.9	ND～0.9	C
大飯	宮留（民家）	〃	20.08.04	0.8	ND～1.1	C
高浜	小黒飯（民家）	〃	20.08.04	1.0	ND～1.0	C
	神野浦（民家）	〃	20.08.04	0.8	ND～0.9	C
	日引（日引漁港）	〃	20.08.04	0.9	ND～0.5*	C

過去実績：2015～2019年度

（注）以下、本表では、「ND」または「-」は検出限界値未満であることを示す。

\*：測定地点変更のため、過去実績は2019年のみ。

表 3-3-5 トリチウム分析結果  
その3 雨水

単位：Bq/ℓ

地区	採取地点	採取期間	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	明神町（敦賀原子力館）	20.07.02～20.10.02	1.2	0.9～2.5	A
	浦底（明神寮）	20.07.01～20.10.01	0.6	0.5～1.3	B
白木	白木（川崎重工事務所）	20.07.02～20.10.02	0.5	ND～1.8	A
	松ヶ崎（機構モニタリングステーション）	20.07.01～20.10.01	1.5	ND～1.0	D
美浜	竹波（落合川取水場）	20.07.02～20.10.02	1.2	0.5～1.7	A
	丹生（関電丹生寮）	20.07.01～20.10.01	2.5	0.5～1.5	C
大飯	宮留（県テレメ観測局）	20.07.01～20.10.01	3.0	1.0～2.5	A
	日角浜（ヴィラ大島）	20.07.02～20.10.02	2.2	0.7～2.8	C
高浜	小黒飯（県テレメ観測局）	20.07.01～20.10.01	3.1	2.2～6.3	A
	小和田（小和田ポンプ所）	20.07.02～20.10.02	0.9	0.5～1.2	C
広域	福井市原目町（福井分析管理室）	20.07.02～20.10.01	—	ND～1.3	A

過去実績：2015～2019年度

表 3-3-5 トリチウム分析結果  
その4 海水

単位：Bq/l

地区	採取地点	種類	採取年月日	放射能濃度	過去実績	機関
敦賀	敦賀発電所2号放水口	海水	20.08.06	1.1	ND~15	B
	ふげん放水口	〃	20.08.06	1.6	ND~20	B
		〃	20.09.02	—		D
	敦賀発電所2号・ふげん放水口周辺	〃	20.08.06	1.5	ND~2.1	B
白木	もんじゅ放水口	〃	20.08.04	—	ND~0.8	D
	もんじゅ放水口周辺	〃	20.08.04	—	ND~1.2	D
美浜	美浜発電所1, 2号放水口	〃	20.08.05	1.1	ND~2.1	C
	美浜発電所3号放水口	〃	20.08.05	1.3	ND~3.7	C
	美浜発電所放水口周辺	〃	20.08.05	1.1	ND~1.1	C
大飯	大飯発電所放水口	〃	20.08.12	3.0	ND~3.8	C
	大飯発電所放水口周辺	〃	20.08.12	4.1	ND~3.3	C
高浜	高浜発電所1, 2号放水口	〃	20.07.09	0.5	ND~8.5	C
		〃	20.08.12	7.5		
	高浜発電所3, 4号放水口	〃	20.07.09	0.5	ND~7.2	C
		〃	20.08.12	11		
	高浜発電所放水口沖	〃	20.07.09	0.5	ND~12	C
		〃	20.08.12	10		
	高浜発電所放水口周辺	〃	20.08.12	7.0	ND~3.5	C

過去実績：2015~2019年度





## 参考資料

- I 各発電所の運転等の状況
- II 各発電所の放射性廃棄物放出実績

## 付 録

- 付録1 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について
- 付録2 軽水型原子力発電所に対する線量目標値



I 各発電所の運転等の状況

表 I-1 2020年7月～9月の各発電所の運転実績

施設名		発電電力量 (MWH)	最大電力 (MW)	稼働率 (%)	発電日数 (日)
日本原電(株) 敦賀発電所	2号機	0	0	0	0
関西電力(株) 美浜発電所	3号機	0	0	0	0
関西電力(株) 大飯発電所	3号機	$5.5 \times 10^5$	1203	21.1	20
	4号機	$26.2 \times 10^5$	1200	100	92
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	0	0	0	0
	2号機	0	0	0	0
	3号機	0	0	0	0
	4号機	$20.1 \times 10^5$	918	100	92

表 I-2 各発電所の発電停止状況（2020年9月末現在）

施設名		発電停止状況		その他	
		年月日	概要	年月日	概要
日本原電(株) 敦賀発電所	2号機	11. 8. 29～	第18回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏 まえた安全性向上対策対応および 新規制基準等対応中		なし
関西電力(株) 美浜発電所	3号機	11. 5. 14～	第25回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏 まえた安全性向上対策対応および 新規制基準等対応中		なし
関西電力(株) 大飯発電所	3号機	20. 7. 20～	第18回定期検査作業実施中		なし
	4号機		なし		なし
関西電力(株) 高浜発電所	1号機	11. 1. 10～	第27回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏 まえた安全性向上対策対応および 新規制基準等対応中		なし
	2号機	11. 11. 25～	第27回定期検査作業実施中 ・福島第一原子力発電所事故を踏 まえた安全性向上対策対応および 新規制基準等対応中		なし
	3号機	20. 1. 6～	第24回定期検査作業実施中		なし
	4号機		なし		なし

表 I-3 各発電所の廃止措置作業状況 (2020年9月末現在)

施設名	区分	年月日	概要
敦賀発電所1号機	廃止措置	17. 4. 19	廃止措置計画認可
		17. 4. 19～	廃止措置作業中
	定期検査		
	廃止措置	08. 2. 12	廃止措置計画認可
08. 2. 12～		廃止措置作業中	
19. 7. 1～		原子炉建屋内の機器等の解体撤去作業中	
20. 8. 24～		タービン建屋内の機器等の解体撤去作業中	
	定期検査	20. 9. 30～	原子炉補助建屋内の機器等の解体撤去作業中
	廃止措置	18. 3. 28	廃止措置計画認可
18. 3. 28～		廃止措置作業中	
20. 7. 13～		汚染の分布に関する評価（機器等の放射線量調査）実施中	
高速増殖原型炉 もんじゅ	定期検査	20. 7. 14～	第1回定期事業者検査実施中
	廃止措置	17. 4. 19	廃止措置計画認可
17. 4. 19～		廃止措置作業中	
18. 4. 2～		2次系設備の解体撤去作業中	
美浜発電所1号機	定期検査		
	廃止措置	17. 4. 19	廃止措置計画認可
17. 4. 19～		廃止措置作業中	
18. 3. 12～		2次系設備の解体撤去作業中	
美浜発電所2号機	定期検査		
	廃止措置	19. 12. 11	廃止措置計画認可
19. 12. 11～		廃止措置作業中	
20. 4. 1～		2次系設備の解体撤去作業中	
20. 4. 1～		系統除染作業準備中	
大飯発電所1号機	定期検査		
	廃止措置	19. 12. 11	廃止措置計画認可
19. 12. 11～		廃止措置作業中	
20. 4. 1～		2次系設備の解体撤去作業中	
20. 4. 1～		系統除染作業準備中	
大飯発電所2号機	定期検査		

\* : 2018年4月1日付けで組織名を改正した。

II 各発電所の放射性廃棄物放出実績

表 II-1 2020年7月～9月の各発電所の放射性気体廃棄物放出実績

施設名	期間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム	
		平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	放出量 Bq	
敦賀発電所	1号機	7月	—	—	—	—	—	2.1E+08	
		8月	—	—	—	—	—	2.1E+08	
		9月	—	—	—	—	—	2.2E+08	
		3ヶ月	—	—	—	—	—	6.5E+08	
	2号機	7月	—	—	—	—	—	—	1.0E+11
		8月	—	—	—	—	—	—	1.3E+11
		9月	—	—	—	—	—	—	1.2E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	—	3.6E+11
	焼却炉排気筒	7月	/		/	/	/	/	/
		8月			/	/	/	/	/
		9月			/	/	/	/	/
		3ヶ月			/	/	/	/	/
	雑固体処理建屋 排気口	7月	/		—	—	—	—	—
		8月			—	—	—	—	—
		9月			—	—	—	—	—
		3ヶ月			—	—	—	—	—
新型転換炉原型炉ふげん	原子炉施設 排気筒	7月	—	—	—	—	—	4.2E+09	
		8月	—	—	—	—	—	4.0E+09	
		9月	—	—	—	—	—	2.3E+09	
		3ヶ月	—	—	—	—	—	1.0E+10	
	重水精製施設 排気筒	7月	/		—	—	—	—	7.7E+08
		8月			—	—	—	—	1.0E+09
		9月			—	—	—	—	9.3E+08
		3ヶ月			—	—	—	—	2.7E+09
	廃棄物処理建屋 排気筒	7月	/		—	—	—	—	—
		8月			—	—	—	—	—
		9月			—	—	—	—	—
		3ヶ月			—	—	—	—	—
高速増殖原型炉もんじゅ	排気筒	7月	—	—	—	—	—	—	
		8月	—	—	—	—	—	—	
		9月	—	—	—	—	—	—	
		3ヶ月	—	—	—	—	—	—	
	一般換気系 排気口	7月	/		—	—	—	—	—
		8月			—	—	—	—	—
		9月			—	—	—	—	—
		3ヶ月			—	—	—	—	—

(注1) 以下、本表では、「/」は放出実績なし、「—」は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 1.0E-01は $1.0 \times 10^{-1}$ のことである。

(注3) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm<sup>3</sup>)の和で除して算出している。

\*:焼却炉計画停止(定期点検等)のため排気筒からの放出なし。(7/1~9/30)

表 II-1 2020年7月～9月の各発電所の放射性気体廃棄物放出実績 つづき

施設名	期間	気体廃棄物 (希ガス等)		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	放出量 Bq
美浜発電所	1号機	7月	—	—	—	—	—	7.0E+10
		8月	—	—	—	—	—	1.4E+11
		9月	—	—	—	—	—	1.6E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	3.6E+11
	2号機	7月	—	—	—	—	—	3.4E+11
		8月	—	—	—	—	—	3.5E+11
		9月	—	—	—	—	—	3.0E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	9.8E+11
	3号機	7月	—	—	—	—	—	6.7E+10
		8月	—	—	—	—	—	9.2E+10
		9月	—	—	—	—	—	1.1E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	2.7E+11
	固体廃棄物 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	—
		8月	—	—	—	—	—	1.4E+07
		9月	—	—	—	—	—	—
		3ヶ月	—	—	—	—	—	1.4E+07
第2固体廃棄物 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	—	
	8月	—	—	—	—	—	—	
	9月	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月	—	—	—	—	—	—	
大飯発電所	1号機	7月	—	—	—	—	—	6.6E+11
		8月	—	—	—	—	—	5.8E+11
		9月	—	—	—	—	—	6.2E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	1.9E+12
	2号機	7月	—	—	—	—	—	9.6E+09
		8月	—	—	—	—	—	8.0E+09
		9月	—	—	—	—	—	7.2E+09
		3ヶ月	—	—	—	—	—	2.5E+10
	3号機	7月	—	—	—	—	—	1.3E+11
		8月	—	—	—	—	—	2.9E+11
		9月	—	—	—	—	—	2.9E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	7.1E+11
	4号機	7月	—	—	—	—	—	1.1E+11
		8月	—	—	—	—	—	1.4E+11
		9月	—	—	—	—	—	1.5E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	4.0E+11

(注1) 1.0E-01は $1.0 \times 10^{-1}$ のことである。

(注2) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm<sup>3</sup>)の和で除して算出している。



表 II-1 2020年7月～9月の各発電所の放射性気体廃棄物放出実績 つづき

施設名	期間	気体廃棄物（希ガス等）		ヨウ素-131		粒子状物質		トリチウム
		平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	放出量 Bq
大飯発電所	固体廃棄物 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	5.8E+08
		8月	—	—	—	—	—	8.4E+08
		9月	—	—	—	—	—	1.1E+09
		3ヶ月	—	—	—	—	—	2.6E+09
	廃棄物 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	3.2E+08
		8月	—	—	—	—	—	7.8E+08
		9月	—	—	—	—	—	6.1E+08
		3ヶ月	—	—	—	—	—	1.7E+09
高浜発電所	1号機	7月	—	—	—	—	—	1.5E+10
		8月	—	—	—	—	—	2.5E+10
		9月	—	—	—	—	—	3.7E+10
		3ヶ月	—	—	—	—	—	7.8E+10
	2号機	7月	—	—	—	—	—	1.8E+10
		8月	—	—	—	—	—	2.3E+10
		9月	—	—	—	—	—	5.5E+10
		3ヶ月	—	—	—	—	—	9.6E+10
	3号機	7月	—	—	—	—	—	2.8E+11
		8月	—	—	—	—	—	2.9E+11
		9月	—	—	—	—	—	3.9E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	9.6E+11
	4号機	7月	—	—	—	—	—	1.6E+11
		8月	—	—	—	—	—	2.1E+11
		9月	—	—	—	—	—	2.0E+11
		3ヶ月	—	—	—	—	—	5.7E+11
	固体廃棄物 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	1.1E+09
		8月	—	—	—	—	—	4.0E+08
		9月	—	—	—	—	—	1.3E+10
		3ヶ月	—	—	—	—	—	1.5E+10
廃樹脂 処理建屋	7月	—	—	—	—	—	2.8E+08	
	8月	—	—	—	—	—	2.7E+08	
	9月	—	—	—	—	—	3.0E+08	
	3ヶ月	—	—	—	—	—	8.5E+08	

(注1) 1.0E-01は $1.0 \times 10^{-1}$ のことである。

(注2) 各ユニットで複数の排気筒がある場合の平均濃度は、各排気筒の放出量(Bq)の和を排気量(cm<sup>3</sup>)の和で除して算出している。

表 II-2 2020年7月～9月の各発電所の放射性液体廃棄物放出実績

施設名	期間	トリチウムを除く液体廃棄物		トリチウム	
		平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq	平均濃度 Bq/cm <sup>3</sup>	放出量 Bq
敦賀発電所	7月	—	—	2.8E-03	1.2E+10
	8月	—	—	2.7E-03	1.2E+10
	9月	—	—	8.1E-04	3.3E+09
	3ヶ月	—	—	2.1E-03	2.7E+10
新型転換炉 原型炉ふげん	7月	—	—	1.0E-03	1.2E+09
	8月	—	—	1.4E-03	1.7E+09
	9月	—	—	8.5E-04	1.0E+09
	3ヶ月	—	—	1.1E-03	3.9E+09
高速増殖原型炉 もんじゅ	7月	—	—	—	—
	8月	—	—	—	—
	9月	—	—	1.4E-05	3.9E+07
	3ヶ月	—	—	4.4E-06	3.9E+07
美浜発電所 1, 2号機	7月	—	—	3.8E-03	1.8E+11
	8月	—	—	1.4E-03	6.6E+10
	9月	—	—	7.3E-04	2.5E+10
	3ヶ月	—	—	2.1E-03	2.7E+11
美浜発電所 3号機* <sup>1</sup>	7月	/	/	/	/
	8月	/	/	/	/
	9月	/	/	/	/
	3ヶ月	/	/	/	/
大飯発電所 1, 2号機	7月	—	—	1.1E-01	5.1E+11
	8月	—	—	1.2E-01	5.3E+11
	9月	—	—	1.4E-01	6.2E+11
	3ヶ月	—	—	1.2E-01	1.7E+12
大飯発電所 3, 4号機	7月	—	—	3.2E-02	1.3E+13
	8月	—	—	2.5E-02	5.8E+12
	9月	—	—	2.6E-02	5.7E+12
	3ヶ月	—	—	2.8E-02	2.4E+13
高浜発電所 1, 2号機	7月	—	—	5.2E-04	2.8E+10
	8月	—	—	1.7E-04	1.0E+10
	9月	—	—	1.9E-04	1.1E+10
	3ヶ月	—	—	2.8E-04	4.9E+10
高浜発電所 3, 4号機	7月	—	—	1.8E-02	3.1E+12
	8月	—	—	3.3E-02	5.7E+12
	9月	—	—	7.1E-04	1.2E+11
	3ヶ月	—	—	1.7E-02	8.9E+12

(注1) 「/」は放出実績なし、「—」は検出限界値未満であることを示す。

(注2) 液体廃棄物は、放水口ごとに集計している。ふげん発電所の放射性廃棄物実績については、重水精製施設からの放出も含めて記載した。

(注3) 敦賀発電所の液体廃棄物放出量については、雑固体減容処理設備からの放出も含まれている。

(注4) 加圧水型を含む各発電所の液体廃棄物のトリチウムは、2次系から放出された物を含めて集計している。

\* 1 : 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により1, 2号機放水口から放出した。(7/1~9/30)

表 II-3 2020年7月～9月の各発電所液体廃棄物中の核種存在比

単位：%

施設名	期間	<sup>22</sup> Na	<sup>51</sup> Cr	<sup>54</sup> Mn	<sup>59</sup> Fe	<sup>58</sup> Co	<sup>60</sup> Co	<sup>131</sup> I	<sup>134</sup> Cs	<sup>137</sup> Cs	その他
敦賀発電所	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
新型転換炉 原型炉ふげん	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
高速増殖原型炉 もんじゅ	7月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3ヶ月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
美浜発電所 1, 2号機	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
美浜発電所 3号機*1	7月	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	8月		/	/	/	/	/	/	/	/	
	9月		/	/	/	/	/	/	/	/	
	3ヶ月		/	/	/	/	/	/	/	/	
大飯発電所 1, 2号機	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
大飯発電所 3, 4号機	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
高浜発電所 1, 2号機	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	
高浜発電所 3, 4号機	7月	/	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	9月		—	—	—	—	—	—	—	—	
	3ヶ月		—	—	—	—	—	—	—	—	

(注) 「/」は放出実績なし、「—」は検出限界値未満であることを示す。

\*1：美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により1, 2号機放水口から放出した。(7/1～9/30)

表Ⅱ-4 2020年7月～9月の各発電所の液体廃棄物中ストロンチウム-89、90

施設名	ストロンチウム-89		ストロンチウム-90	
	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	放出量 (Bq)	平均濃度 (Bq/cm <sup>3</sup> )	放出量 (Bq)
敦賀発電所	—	—	—	—
新型転換炉原型炉ふげん	—	—	—	—
高速増殖原型炉もんじゅ	—	—	—	—
美浜発電所 1, 2号機	—	—	—	—
〃 3号機 *	/	/	/	/
大飯発電所 1, 2号機	—	—	—	—
〃 3, 4号機	—	—	—	—
高浜発電所 1, 2号機	—	—	—	—
〃 3, 4号機	—	—	—	—

(注) [/]は放出実績なし、[-]は検出限界値未満であることを示す。

\* : 美浜3号機の定期検査に伴い、連絡配管により1、2号機放水口から放出した。(7/1～9/30)

## 付録 1

### 大気中水分、雨水（降下物）のトリチウム分析結果について

#### 【測定のための目的・経緯】

大気中水分、雨水（降下物）のトリチウムの測定については、平成8年度から定期調査として報告を開始し、平成17年度からは、大気中水分を期間調査から月間調査に、雨水を月間調査から期間調査に変更した。

トリチウムは表3-4-2に示すように、単位放射能当たりの線量への寄与が他の主要な核種と比べ数百分の1～数千分の1と小さく、環境安全上大きな問題となるものではないが、放射性ヨウ素や $^{60}\text{Co}$ 等の放射性核種の放出がほとんどなくなったことから、環境モニタリングにおいて相対的にトリチウムの比重が高くなっており、また、希ガスを除けば、定常的に放出される唯一の核種であるので、定期調査に加えたものである。

県内で多数を占める軽水型原子炉施設を例にとれば、気体廃棄物中のトリチウムは、海への液体廃棄物の放出とは異なり、使用済燃料プールや定期検査時の原子炉キャビティーからの蒸発や格納容器パージがあるため、ほぼ定常的に発生し、放出される。

大気中水分のトリチウム分析は、吸入に伴う内部被ばく線量を把握するためであり、雨水（降下物）については、雨によるウォッシュアウト（洗い落とし）効果によって大気中のトリチウムが地表にもたらされることや、空気中の水蒸気と地表面に溜まった水とが比較的容易に入れ代わること等から、大気中水分の測定結果を解釈する際の参考として分析しているものである。トリチウムの存在形態としてはHTやT<sub>2</sub>のようなガス状の存在も考えられるが、環境では速やかにHTOに変換するとされているので、水分を採取することとしている。

表 1 Bqを経口または吸入摂取した場合の成人の実効線量係数 (μSv/Bq)

	経 口 摂 取	吸 入 摂 取
$^3\text{H}$	$1.8 \times 10^{-5}$	$1.8 \times 10^{-5}$
$^{60}\text{Co}$	$3.4 \times 10^{-3}$ ( $^3\text{H}$ に対する倍数 190)	$3.1 \times 10^{-2}$ ( $^3\text{H}$ に対する倍数 1,700)
$^{131}\text{I}$	$1.6 \times 10^{-2}$ ( // 890)	$1.5 \times 10^{-2}$ ( // 830)
$^{137}\text{Cs}$	$1.3 \times 10^{-2}$ ( // 720)	$3.9 \times 10^{-2}$ ( // 2200)

#### 【試料の採取・測定法】

大気中水分は線量率連続モニタの観測局等に設置した除湿器により月毎に採取し、雨水は降下物の核種分析用の水盤または別の水盤から月ごとに分取して3ヶ月分まとめ（集合試料）、蒸留等の前処理を行ったものを低バックグラウンド液体シンチレーション検出器により測定している。

#### 【発電所影響の評価法】

測定結果はBq/ℓで報告するが、大気中水分の吸入による預託実効線量はトリチウムの大気中濃度 (Bq/m<sup>3</sup>) から求める。このため、大気中水分のトリチウム (Bq/ℓ) に当該期間の平均気温と平均相対湿度を用いて求めた空気中の水分量 (ℓ/m<sup>3</sup>) を乗じて大気中濃度 (Bq/m<sup>3</sup>) を算出して評価を行う。

過去実績（1975～2019年度）の月間最大値として、高浜地区の大気中水分から2007年11月に52 Bq/ℓが検出されている。仮に100Bq/ℓのトリチウム濃度の水分を含む空気を成人が年間連続して呼吸し続けると仮定した場合、表の線量換算係数および1日の呼吸量を用いれば、

$$(100\text{Bq}/\ell \times 0.0113\ell/\text{m}^3) \times 22.2\text{m}^3/\text{日} \times 365\text{日} \times 1.8 \times 10^{-5} \mu\text{Sv}/\text{Bq} = 1.6 \times 10^{-1} \mu\text{Sv}$$

と計算される。これは、発電用原子炉施設周辺の公衆の線量目標50μSvまたは2008年国連科学委員会報告によるラドン等の吸入による内部被ばく線量1.26mSvと比べ、無視し得る極めて小さな値である。

なお、大気中水分のトリチウム濃度 (Bq/ℓ) は、空気中の水分量が気温や相対湿度によって変動するため、季節によって3～4倍値が異なることに注意を要する。

\* 0.0113ℓ/m<sup>3</sup>は敦賀特別地域気象観測所における2019年度の平均気温および平均相対湿度を基に計算した空気中の水分量である。

## 付録 2

### 軽水型原子力発電所に対する線量目標値

ICRPの基本的な考え方である「as low as reasonably achievable」の取入れに関して、旧原子力安全委員会において「発電用軽水型原子炉施設周辺の線量目標値に対する評価指針」（1976年9月制定、2001年3月最終改訂）が制定されている。

この指針によれば、発電用軽水炉施設の通常運転時における環境への放射性物質の放出に伴う周辺公衆の線量を低く保つための努力目標として、施設周辺の公衆の線量についての目標値は下記の通りである。

○実効線量 50マイクロシーベルト／年 [=50 $\mu$  Sv/y]

1 敷地の全軽水型原子炉から環境に放出される放射性物質による実効線量。具体的には発電所周辺の集落における食生活等が標準的である人を対象とし、現実的と考えられる計算方法およびパラメータにより算出する。

- ①気体廃棄物については、放射性希ガスからのガンマ線による外部被ばくおよび放射性ヨウ素の体内摂取による内部被ばく。
- ②液体廃棄物については、海産物を摂取することによる内部被ばく。

これらの目標値を積極的に達成するために、各原子力発電所では放射性廃棄物の環境への放出について、保安規定で放出管理目標値や放出管理の基準値を次に示すように定めている。

なお、放出管理の基準値は、放射性液体廃棄物中のトリチウムのように、人への影響が非常に小さいことから放出管理目標値が定められない放射性物質に対して、放出量の目安値として定められている。

<放射性気体廃棄物の放出管理目標値>

①希ガス (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
$1.3 \times 10^{15} *1$	—*2	$5.5 \times 10^{12} *3$	$1.0 \times 10^{15} *4$	$1.0 \times 10^{15} *5$	$3.3 \times 10^{15}$

②ヨウ素-131 (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
$1.2 \times 10^{10} *1$	—*2	—*3	$2.5 \times 10^{10} *4$	$2.5 \times 10^{10} *5$	$6.2 \times 10^{10}$

③粒子状物質 (コバルト-60) (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
$5.9 \times 10^7 *6$	—*7	—	—	—	—

④トリチウムを除く (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
—	$8.7 \times 10^{12} *7$	—	—	—	—

⑤トリチウム ( $^3\text{H}$ ) (単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
—	$3.1 \times 10^8 *7$	—	—	—	—

<放射性液体廃棄物\*8 (トリチウムを除く) 放出管理目標値>

(単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
$7.4 \times 10^{10}$	$3.8 \times 10^8 *7$	$4.7 \times 10^8 *9$	$7.1 \times 10^{10} *5$	$7.4 \times 10^{10} *5$	$1.4 \times 10^{11}$

- \*1 「敦賀発電所」は敦賀1号機の廃止措置計画の認可を受け、放出管理目標値を変更した。  
(保安規定改正日；2017年4月19日)
- \*2 「ふげん」は運転終了に伴い、炉心から燃料がなくなったことから、希ガス、ヨウ素-131の放出管理目標値を削除した。(保安規定改正日；2003年10月1日)
- \*3 「もんじゅ」は、廃止措置計画の認可を受け、希ガス、ヨウ素-131の放出管理目標値を変更した。  
(保安規定改正日；2018年4月1日)
- \*4 「美浜発電所」は美浜1、2号機の廃止措置計画の認可を受け、放出管理目標値等を変更した。  
(保安規定改正日；2017年4月19日)
- \*5 「大飯発電所」は大飯1、2号機の廃止措置計画の認可を受け、放出管理目標値等を変更した。  
(保安規定改正日；2019年12月11日)
- \*6 「敦賀発電所」は敦賀1号機の廃止措置計画の認可を受け、敦賀1号機の廃止措置に伴い発生する粒子状放射性物質(コバルト-60)を放出管理目標値に追加した。(保安規定改正日；2017年4月19日)
- \*7 「ふげん」は廃止措置計画の変更認可を受け、原子炉周辺設備解体撤去期間以降に実施する工事等に伴う値に変更した。(保安規定改正日；2019年7月22日)
- \*8 放射性液体廃棄物のトリチウム( $^3\text{H}$ )に関しては、各発電所の保安規定に以下の放出管理の基準値等が設けられている。

(単位：Bq/年)

敦賀発電所	ふげん	もんじゅ	美浜発電所	大飯発電所	高浜発電所
$7.7 \times 10^{13}$	$2.6 \times 10^{12} *7$	$2.8 \times 10^{12} *9$	$1.1 \times 10^{14} *4$	$1.7 \times 10^{14} *5$	$2.2 \times 10^{14}$

- \*9 「もんじゅ」は、廃止措置計画の認可を受け、放出管理目標値を変更した。  
(保安規定改正日；2018年4月1日)

# 原子力発電所周辺の環境放射能調査

2020年度（令和2年度）第2四半期報告書

〔FERC第53巻 2号〕

福井県環境放射能測定技術会議

Fukui Environmental Radiation Monitoring Council  
(FERC)

2021年1月 発行

発行所 福井県環境放射能測定技術会議事務局  
敦賀市吉河37-1 (〒914-0024)  
福井県原子力環境監視センター  
TEL. (0770) 25-6110

発行責任者 村田 健